

豊田地域医療センター病院年報

平成 2 9 年度

< 目次 >

1	病院理念と基本方針	1
2	発刊にあたり	2
3	病院機能	
3.1	施設概要	3
3.2	各種指定・学会認定等	4
3.2.1	各種指定	
3.2.2	学会認定	
3.2.3	病院機能評価	
3.2.4	人間ドック健診施設機能評価	
3.3	施設基準	5
3.4	組織図	6
3.5	医療機器	7
3.5.1	主な医療機器	
3.5.2	主な医療システム	
4	業務状況	
4.1	診療実績	
4.1.1	科別患者数	8
4.1.2	地域別患者数	10
4.1.3	年齢構成別患者数	11
4.2	健診実績	
4.2.1	総合健診（人間ドック）受診者数	12
4.2.2	総合健診（人間ドック）地域別受診者数	13
4.2.3	他の健診受診者数	13
4.2.4	集団検診受診者数	14
4.2.5	学校健診	14
4.3	地域医療連携実績	
4.3.1	紹介患者実績	15
4.3.2	医療相談実績	15
4.4	在宅実績	
4.4.1	地域包括支援実績	16
4.4.2	居宅介護支援実績	16
4.4.3	訪問看護実績	16
4.4.4	訪問診療実績	17
4.5	部門実績	
4.5.1	医療安全管理部門	18
4.5.2	感染管理部門	19
4.5.3	診療部門	21
4.5.4	薬剤部門	22
4.5.5	診療放射線部門	23

4.5.6	臨床検査部門	23
4.5.7	手術部門	24
4.5.8	リハビリテーション部門	25
4.5.9	栄養管理部門	26
5	委員会状況	
5.1	委員会一覧	27
5.2	主な委員会の活動報告	
5.2.1	医療安全管理委員会	28
5.2.2	院内感染対策委員会・ICT委員会	30
5.2.3	健診運営委員会	33
5.2.4	サービス向上委員会	34
5.2.5	診療報酬委員会	36
5.2.6	内視鏡室運営委員会	37
5.2.7	栄養管理委員会	39
5.2.8	NST委員会	44
5.2.9	褥瘡防止対策委員会	45
5.2.10	薬事材料委員会	47
5.2.11	臨床検査適正化・輸血療法委員会	48
5.2.12	入退院判定会	49
5.2.13	災害対策委員会	51
5.2.14	広報委員会	52
5.2.15	衛生委員会	53
6	講演、学会、研修会等の発表	55
7	研修状況	
7.1	研修会	57
8	実習状況	
8.1	学生実習	58
8.2	職場体験学習	59

病院理念

私たちは、医療・保健・福祉を通して、
地域みなさまの生命を守り、
健康で生きがいのある生活を支援します。

基本方針

- 1 救急医療から慢性期医療・在宅支援まで、患者さまの立場にたった総合的医療を提供します。
- 2 健診事業の充実を図り、疾病の予防・早期発見を通して、地域みなさまの健康増進に努めます。
- 3 地域の医療機関との連携を密にして、患者さまに適切な医療サービスを提供します。
- 4 良質な医療を提供するために、働きがいのある職場環境を整え、医療技術と知識及びモラルの向上に努めます。

豊田地域医療センター 院長

2 発刊にあたり

平成 29 年度病院年報

公益財団法人 豊田地域医療センター

院長 井野晶夫

日頃より、豊田地域医療センターにご支援・ご指導を頂き有難うございます。平成 29 年度の「豊田地域医療センター病院年報」をお届けいたします。

平成 29 年も世界各地で不穏な出来事が数多く報道されていきました。北朝鮮は安保理の制裁決議にもかかわらず、核・ミサイル開発を継続し、対峙するアメリカとの核戦争のリスクが続いています。また平成 29 年 2 月にクアラルンプール国際空港での金正男殺害事件がありましたが、年末には兵士亡命や不審船の日本海側への漂着など物騒で不安な状況が続いています。一方のアメリカは昨年の大統領選を巡るロシア疑惑の中、トランプ大統領が 11 月にはアジア歴訪を果たしましたが、TPP 離脱、パリ協定離脱、エルサレム首都認定と国際的な協調を無視しているようにも思えます。また 2014 年からの「イスラム国」は次第に劣勢となり、11 月にはイラク軍、シリア軍がその拠点を奪還しましたが、11 月以降もエジプトなどで関連したテロが起こっています。

国内では景気動向指数は「いざなぎ超え」といわれていますが、あまり好景気を実感できておりません。また、わが国の“売り”となっている自動車産業や製鋼業などでの品質管理の問題は、わが国の産業全体への信頼性も揺るがしかねません。安倍内閣は第 4 次の長期政権となりましたが、“付度”という言葉が流行語大賞にまでした「森友」・「加計」問題で野党からの虚しい追求がいつまで続くのかとも思います。7 月の東京都議選では自民が惨敗し、都民ファーストが第 1 党となりましたが、10 月の衆議院選では安倍内閣への高い不支持率にも関わらず、希望の党の失速、民進党の分断が起こって野党がまとまりきれず、自民が大勝する結果となりました。

平成 29 年度の病院事業では 5 つの重点目標を中心に報告します。外来診療のうち救急外来では患者数は 19,889 人で前年度より 0.4%減となり、一般・専門外来では患者数 35,335 人で前年度より 2.5%増となりました。訪問診療では患者数は 7,053 人で前年度より 85.5%と大きく増加し、看取り件数も 122 件ありました。在宅医療支援に関しては豊田加茂医師会が進める在宅医療サポートセンター・中核センター事業に職員出向・派遣を含め、協力・支援体制を維持できました。在宅支援入院制度の利用者は延 360 人で、前年度の 4.6 倍に増加しました。入院診療は、看護部、地域医療連携室を初めとする多くの職員の尽力により全体の病床利用率は 92.7%と前年度より 4.4%増加しました。地域包括ケア病床は 3 A 病棟で 17 床を運用してきましたが、平成 30 年 3 月から 3 A 病棟全体 (51 床) に拡大して運用を開始できました。電子カルテシステム等情報システムの更新に関しては電子カルテ導入委員会を設置し、平成 30 年 2 月 27 日より新システムを稼働させました。健診では総合健診受診者は 23,913 人と前年度より 2.0%増加しましたが、特定健診受診者は 7,913 人で 1.5%減少しました。平成 30 年 1 月には人間ドック健診施設機能評価を受審し、施設認定を更新できました。病院再整備事業では第 I 期工事として林造成・駐車場整備工事、体育館解体工事及び II 期工事に向けてのインフラ整備等準備工事を実施しました。寄附講座関連事業では今年度に「藤田保健衛生 (医科) 大学総合診療・家庭医療研修プログラム」に新たに 7 名の専攻医が加わり、また第 I 期生専攻医 3 名がプログラムを修了しました。

地域の皆様に信頼され、その期待に応えられるようになるため、豊田地域医療センターの更なる発展に向けて今後とも努力いたします。皆様のなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

3. 病院機能

3.1 施設概要

平成 29 年 4 月 1 日現在

所在地

〒471-0062

愛知県豊田市西山町 3 丁目 30 番地 1

連絡先

0565-34-3000（代表）

ホームページアドレス

<http://www.toyotachiiki-mc.or.jp>

敷地面積

34,422.55 m²

診療科

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、総合診療科、小児科、神経内科、
外科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、泌尿器科、放射線科、歯科

病床数

一般病床 80 床

回復期リハビリテーション病床 30 床

療養病床 40 床

施設規模

施 設	構 造	延床面積
病院本体	鉄筋コンクリート造	17,810.58 m ²
	地下 1 階地上 4 階建	
MR I 棟	鉄筋コンクリート造	119.36 m ²
	平屋建	
豊田地域看護専門学校	鉄筋コンクリート造	3,029.73 m ²
	3 階建	
体育館	鉄筋コンクリート造	686.99 m ²
	平屋一部 2 階建	

職員数

事務局		病院部門																教育部門			合 計	
	事務員		医師	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	管理栄養士	保健師	看護師	准看護師	社会福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	事務員	技能員		看護師		事務員
2	2	255	18	7	17	18	15	11	4	3	6	104	1	5	9	3	32	2	14	13	1	271

3.2 各種指定・学会認定等

平成 29 年 4 月 1 日現在

3.2.1 各種指定

社会保険等指定	保険医療機関
	結核医療機関
	労災保険指定医療機関
	労災保険二次健康診断等給付医療機関
	生活保護法指定機関
	被爆者一般疾病医療機関
	指定自立支援医療機関（精神通院医療）
	B 型・C 型肝炎患者医療給付事業指定医療機関
	難病医療協力病院
	救急告示医療機関
各種指定	藤田保健衛生大学病院臨床研修協力医療機関
	豊田地域看護専門学校実習指定病院
	国土交通省短期入院協力指定病院（交通事故後の重症後遺症）

3.2.2 学会認定

日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本外科学会外科専門医制度関連施設
日本脳ドック学会認定施設
日本老年医学会認定施設

3.2.3 病院機能評価

認定機関	公益財団法人 日本医療機能評価機構
バージョン	3 r d G : V e r 1 . 0
種別・区分	一般病院（100 床以上）（主たる機能）
認定日	2013-11-01
認定番号	JC1558-2
認定有効期限	2018-09-28

3.2.4 人間ドック健診施設機能評価

認定機関	公益財団法人 日本人間ドック学会
バージョン	2.0
認定日	2013-04-20
認定番号	306
認定有効期限	2018-03-31

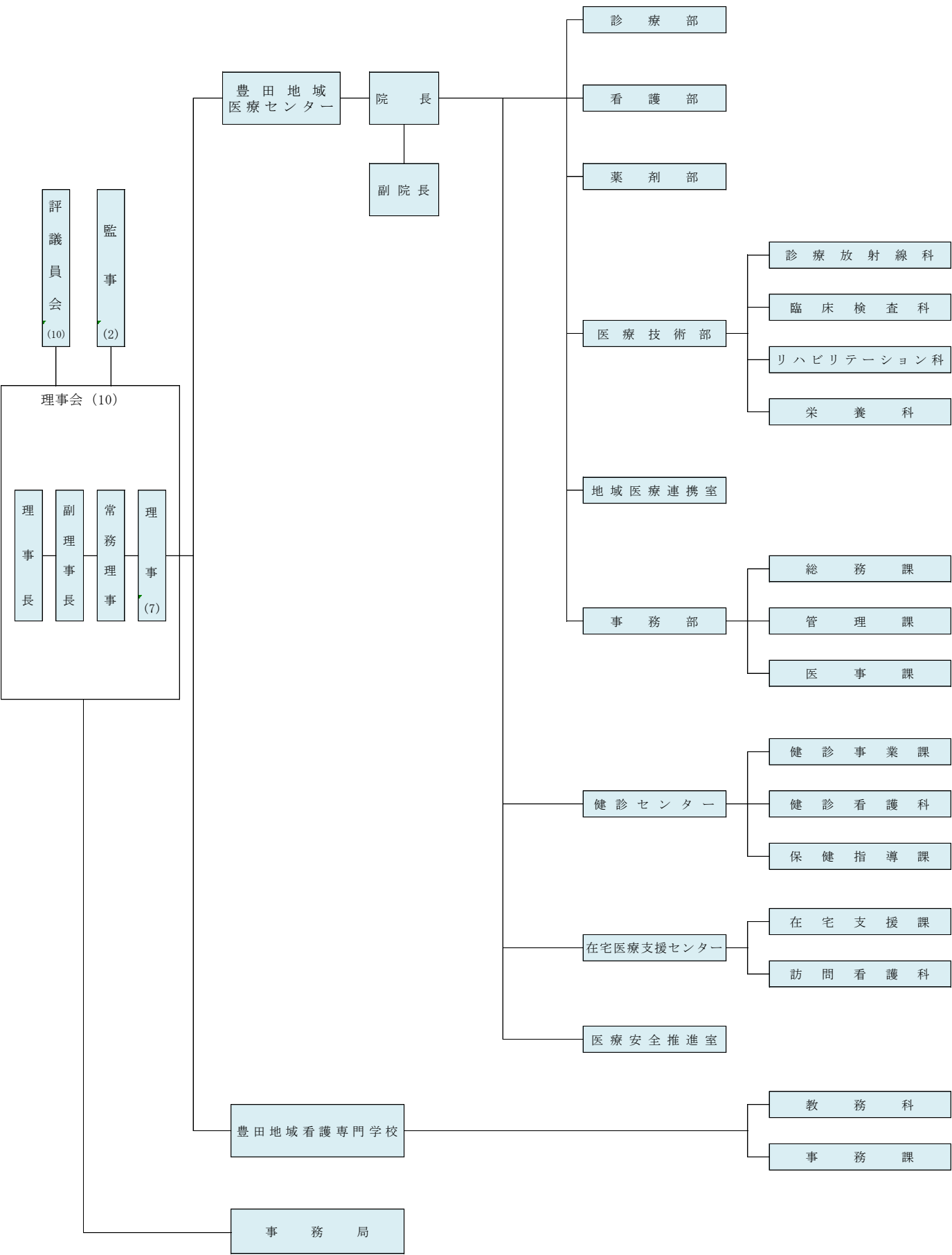
3.3 施設基準

平成 29 年 4 月 1 日現在

届出名称	受理番号	算定開始年月日
一般病棟入院基本料	(一般入院) 第2590号	平成26年 9月 1日
療養病棟入院基本料	(療養入院) 第850号	平成25年11月 1日
診療録管理体制加算 1	(診療録1) 第13号	平成26年 4月 1日
急性期看護補助体制加算	(急性看補) 第570号	平成29年 3月 1日
療養環境加算	(療) 第179号	平成20年 8月 1日
重症者等療養環境特別加算	(重) 第80号	平成 3年 4月 1日
療養病棟療養環境加算 1	(療養1) 第137号	平成25年 4月 1日
栄養サポートチーム加算	(栄養チ) 第73号	平成26年 6月 1日
医療安全対策加算 1	(医療安全1) 第109号	平成20年 4月 1日
感染防止対策加算 1	(感染防止1) 第63号	平成26年 6月 1日
総合評価加算	(総合評価) 第30号	平成23年 8月 1日
後発医薬品使用体制加算 1	(後発使1) 第14号	平成28年 4月 1日
データ提出加算 1	(データ提) 第182号	平成27年10月1日
退院支援加算 1	(退支) 第244号	平成28年 7月 1日
認知症ケア加算 2	(認ケア) 第76号	平成29年 1月 1日
回復期リハビリテーション病棟入院料2	(回2) 第137号	平成23年 7月 1日
地域包括ケア入院医療管理料 1	(地包ケア1) 第4819号	平成29年 3月 1日
入院時食事療養(Ⅰ)・入院時生活療養(Ⅰ)	(食) 第316号	平成 3年 3月30日
がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼) 第65号	平成22年 4月 1日
ニコチン依存症管理料	(ニコ) 第1446号	平成20年 7月 1日
がん治療連携指導料	(がん指) 第904号	平成25年 7月 1日
薬剤管理指導料	(薬) 第414号	平成22年 4月 1日
医療機器安全管理料 1	(機安1) 第59号	平成20年 4月 1日
別添1の「第14の2」の1の(1)に規定する在宅療養支援病院	(支援病1) 第18号	平成27年 8月 1日
在宅緩和ケア充実診療所・病院加算	(在緩病) 第1号	平成28年 4月 1日
在宅時医学総合管理料又は特定施設入居時等医学総合管理料	(在医総管) 第1535号	平成27年 4月 1日
在宅がん医療総合診療料	(在総) 第1773号	平成27年 6月 1日
検体検査管理加算(Ⅰ)	(検Ⅰ) 第276号	平成20年 4月 1日
検体検査管理加算(Ⅱ)	(検Ⅱ) 第44号	平成20年 4月 1日
画像診断管理加算 2	(画2) 第69号	平成20年 4月 1日
C T撮影及びMR I撮影	(C・M) 第1097号	平成28年 4月 1日
冠動脈C T撮影加算	(冠動C) 第26号	平成21年 1月 1日
心臓MR I撮影加算	(心臓M) 第13号	平成20年 4月 1日
無菌製剤処理料	(菌) 第197号	平成21年12月 1日
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	(脳Ⅰ) 第99号	平成24年 4月 1日
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	(運Ⅰ) 第47号	平成24年 4月 1日
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	(呼Ⅰ) 第70号	平成24年 4月 1日
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術	(通手) 第325号	平成20年 4月 1日
胃瘻造設術	(胃瘻造) 第26号	平成26年 4月 1日
輸血管理料Ⅱ	(輸血Ⅱ) 第23号	平成19年 3月 1日
輸血適正使用加算	(輸適) 第94号	平成29年 4月 1日
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	(胃瘻造嚥) 第24号	平成26年 4月 1日
酸素単価	(酸素単) 第22531号	平成29年 4月 1日

3. 4 組織図

平成 29 年 4 月 1 日現在



3.5 医療機器

平成 30 年 3 月 31 日現在

3.5.1 主な医療機器

部門	備品名	台数
画像診断	一般撮影装置	4
	X線テレビ装置	6
	乳房軟線撮影装置	2
	パノラマ撮影装置	1
	C T (6 4 列)	1
	M R I (1 . 5 テスラ)	1
	骨塩定量測定装置	1
内視鏡検査	上部消化管ファイバースコープ	5
	下部消化管ファイバースコープ	3
検体検査	検査分析装置	7
生理検査	腹部超音波診断装置	7
	心臓超音波診断装置	1
	乳腺・その他超音波診断装置	2
認知機能検査	A D A S (D T - N a v i)	2

3.5.2 主な医療システム

備品名	メーカー	システム名
電子カルテシステム	富士通	HOPE-LifeMark-MX
健診システム	日立製作所	ヘルゼアネクスト
P A C S	Canon Medical Systems	RapideyeCore

4. 業務状況

4.1 診療実績

4.1.1 科別患者数

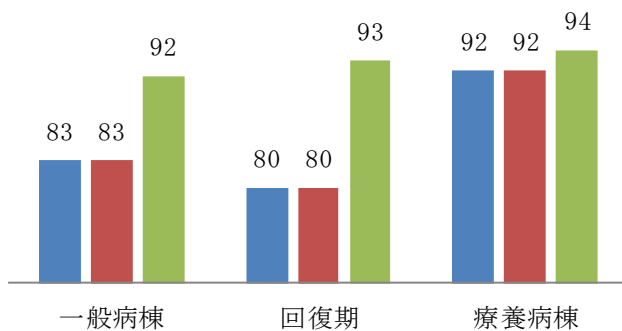
区 分			合 計	1 日平均	前年度	前年度比 %	診 療 日 数	
								前年度
外 来	救急外来	内 科	11,680人	32.0人	11,759人	99.3%	365日	365日
		小 児 科	3,430人	9.4人	3,385人	101.3%		
		外 科	4,369人	12.0人	4,417人	98.9%		
		歯 科	410人	5.4人	398人	103.0%	76日	75日
		小 計	19,889人	54.5人	19,959人	99.6%		
	一般・専門外来	総合診療科	11,196人	38.2人	8,483人	132.0%	293日	293日
		消化器内科	6,212人	21.2人	6,622人	93.8%		
		循環器内科	2,227人	7.6人	3,700人	60.2%		
		呼吸器内科	1,919人	6.5人	1,815人	105.7%		
		神 経 内 科	1,388人	4.7人	1,432人	96.9%		
		外 科	5,644人	19.3人	5,163人	109.3%		
		整 形 外 科	4,198人	14.3人	4,399人	95.4%		
		脳神経外科	1,228人	4.2人	1,340人	91.6%		
		放 射 線 科	1,071人	3.7人	1,245人	86.0%		
		泌 尿 器 科	252人	0.9人	262人	96.2%		
		小 計	35,335人	120.6人	34,461人	102.5%		
	合 計		55,224人		54,420人	101.5%		

区 分			合 計	1 日平均	前年度	前年度比 %	診 療 日 数	
								前年度
在宅	訪 問 診 療		7,053人	19.3人	3,803人	185.5%	365日	365日

区 分 \ 月		合 計	1 日平均	前年度	前年度比 %	平均在院日数		病床利用率	
							前年度		前年度
入 院	一 般 病 棟	26,781人	73.4人	25,577人	104.7%	22.9日	21.2日	91.7%	87.6%
	一 般 病 床 (再 掲)	19,511人	53.5人	22,502人	86.7%	18.8日	21.0日	88.9%	86.5%
	地域包括ケア病床 (再 掲)	7,270人	19.9人	3,075人	236.4%	23.1日	22.9日	100.2%	96.1%
	回復期リハビリ テーション病棟	10,213人	28.0人	9,181人	111.2%	51.2日	46.6日	93.3%	83.8%
	療 養 病 棟	13,776人	37.7人	13,559人	101.6%	46.7日	48.5日	94.4%	92.9%
	合 計	50,770人	139.1人	48,317人	105.1%	31.2日	26.2日	92.7%	88.3%

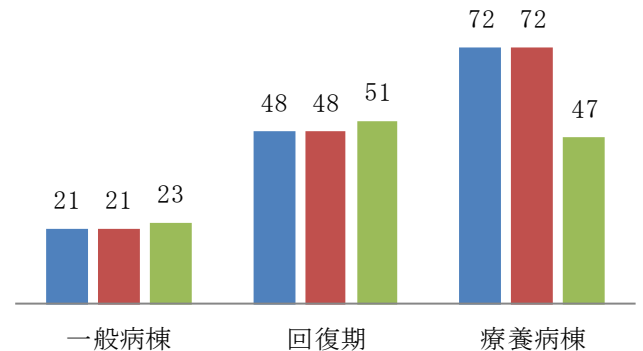
病床利用率

■ H27年度 ■ H28年度 ■ H29年度



平均在院日数

■ H27年度 ■ H28年度 ■ H29年度



< 定義 >

平均在院日数

年間在院患者のべ数

(年間新入院患者数 + 年間退院患者数) / 1/2

※除外患者を除かない全患者数

病床利用率

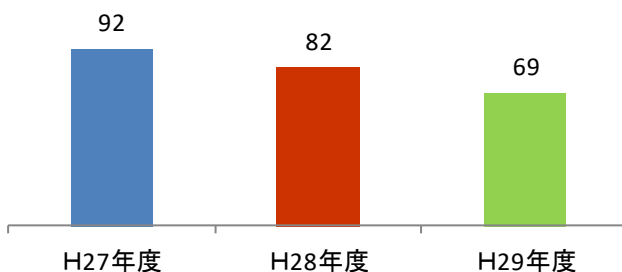
年間在院患者のべ数

病床数 × 365日

× 100%

区 分 \ 月		合 計	1 日平均	前年度	前年度比 %	診 療 日 数	
							前年度
入院口腔ケア(歯科)		69人	6.3人	82人	84.1%	11日	12日

入院口腔ケア



4.1.2 地域別患者数

地域 区 分			豊 田 市							みよし市	その他	合 計	
			旧市内	藤 岡 地 区	小 原 地 区	下 山 地 区	旭 地 区	足 助 地 区	稲 武 地 区				小 計
外 来	救急外来	内 科	9,491人	698人	117人	60人	37人	105人	6人	10,514人	589人	577人	11,680人
		小 児 科	2,804人	189人	16人	12人	9人	34人	0人	3,064人	211人	155人	3,430人
		外 科	3,424人	279人	58人	27人	21人	47人	4人	3,860人	258人	251人	4,369人
		歯 科	294人	20人	2人	1人	3人	8人	2人	330人	40人	40人	410人
		小 計	16,013人	1,186人	193人	100人	70人	194人	12人	17,768人	1,098人	1,023人	19,889人
	一般・専門外来	総合診療科	8,899人	712人	152人	36人	45人	163人	11人	10,018人	434人	745人	11,197人
		消化器内科	4,716人	365人	118人	55人	22人	106人	28人	5,410人	332人	470人	6,212人
		循環器内科	1,872人	97人	34人	21人	12人	31人	3人	2,070人	83人	74人	2,227人
		呼吸器内科	1,502人	74人	61人	6人	13人	52人	2人	1,710人	75人	134人	1,919人
		神 経 内 科	1,234人	40人	26人	3人	11人	24人	0人	1,338人	25人	24人	1,387人
		外 科	4,527人	334人	89人	48人	49人	67人	17人	5,131人	162人	351人	5,644人
		整 形 外 科	3,417人	305人	102人	6人	19人	25人	6人	3,880人	202人	116人	4,198人
		脳神経外科	981人	109人	17人	0人	1人	16人	0人	1,124人	70人	34人	1,228人
		放 射 線 科	862人	37人	3人	5人	4人	10人	0人	921人	101人	49人	1,071人
		泌 尿 器 科	186人	28人	11人	2人	1人	14人	2人	244人	3人	5人	252人
		小 計	28,196人	2,101人	613人	182人	177人	508人	69人	31,846人	1,487人	2,002人	35,335人
	合 計		44,209人	3,287人	806人	282人	247人	702人	81人	49,614人	2,585人	3,025人	55,224人
	構 成 比 %		80.1%	6.0%	1.5%	0.5%	0.4%	1.3%	0.1%	89.8%	4.7%	5.5%	100.0%
	前 年 度		43,327人	3,229人	873人	282人	238人	629人	75人	48,653人	2,516人	3,251人	54,420人
	前 年 度 比 %		102.0%	101.8%	92.3%	100.0%	103.8%	111.6%	108.0%	102.0%	102.7%	93.0%	101.5%

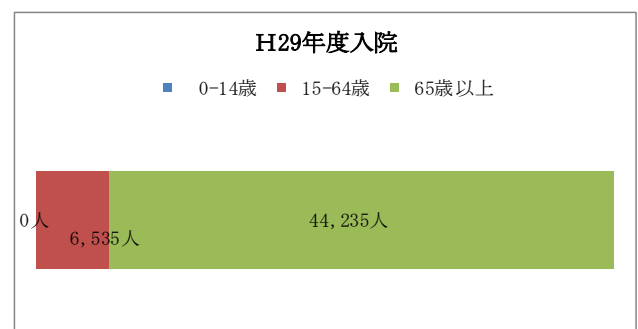
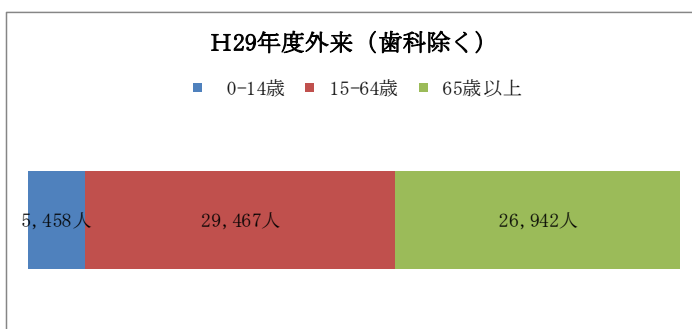
在 宅	訪 問 診 療	6,233	363	17	17	0	0	0	6,630	114	309	7,053
	構 成 比 %	88.4	5.1	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	94.0	1.6	4.4	100.0
	前 年 度	3,314	217	7	24	0	0	0	3,562	67	174	3,803
	前 年 度 比 %	188.1	167.3	242.9	70.8	—	—	—	186.1	170.1	177.6	185.5

入 院	一 般 病 棟	22,914人	2,000人	668人	14人	89人	137人	27人	25,849人	274人	658人	26,781人
		一 般 病 床	16,831人	1,368人	442人	14人	50人	88人	18,817人	199人	495人	19,511人
		地 域 包 括 ケ ア 病 床	6,083人	632人	226人	0人	39人	49人	7,032人	75人	163人	7,270人
	回 復 期 リハビリテーション病棟	8,126人	670人	256人	0人	63人	129人	0人	9,244人	291人	678人	10,213人
	療 養 病 棟	11,924人	560人	227人	36人	0人	0人	0人	12,747人	599人	430人	13,776人
	合 計	42,964人	3,230人	1,151人	50人	152人	266人	27人	47,840人	1,164人	1,766人	50,770人
	構 成 比 %	84.6%	6.4%	2.3%	0.1%	0.3%	0.5%	0.1%	94.2%	2.3%	3.5%	100.0%
	前 年 度	40,859人	2,372人	1,581人	61人	212人	237人	83人	45,405人	1,065人	1,847人	48,317人
	前 年 度 比 %	105.2%	136.2%	72.8%	82.0%	71.7%	112.2%	32.5%	105.4%	109.3%	95.6%	105.1%

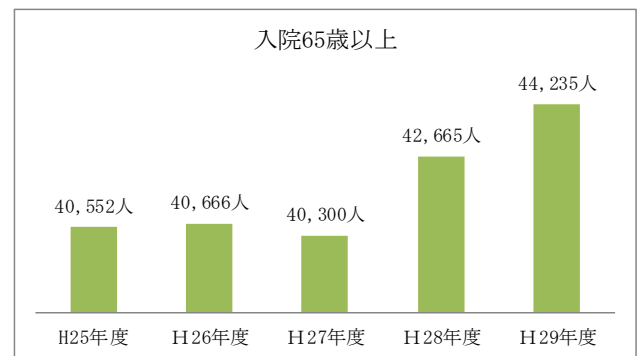
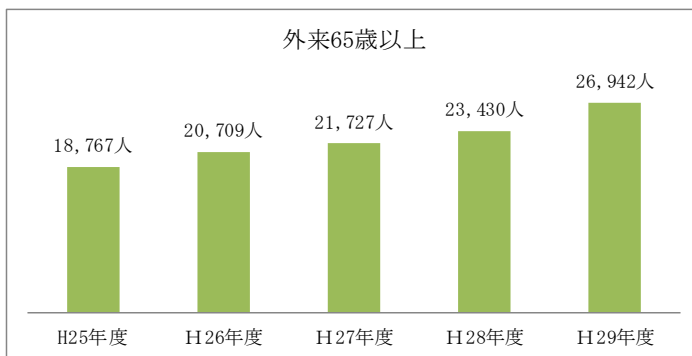
4.1.3 年齢構成別患者数

< 年齢構成別患者数 >

延べ数（人）		H29年度	H28年度	前年度比
外来 (歯科除き、訪問診療を含む)	0-14歳	5,458人	5,131人	106.4%
	15-64歳	29,467人	27,152人	108.5%
	65歳以上	26,942人	23,430人	115.0%
入院	0-14歳	0人	11人	0.0%
	15-64歳	6,535人	5,954人	109.8%
	65歳以上	44,235人	42,665人	103.7%



< 65歳以上の推移 >

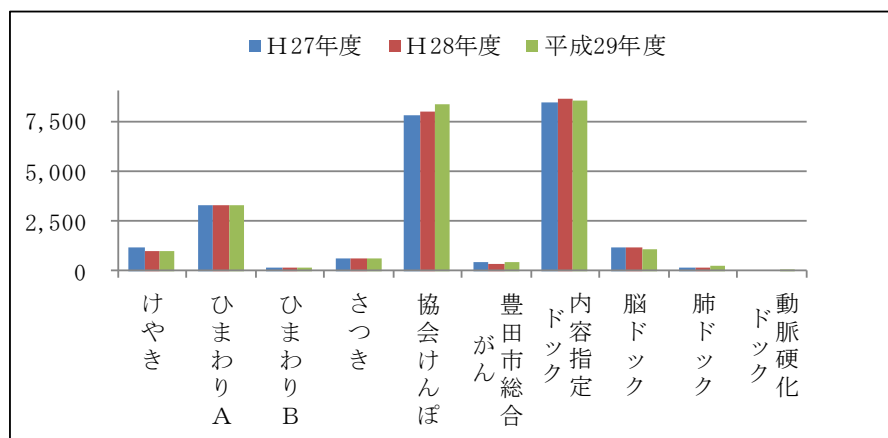


4.2 健診実績

4.2.1 総合健診（人間ドック）受診者数

区分		平成29年度	H28年度	前年度比
コース別	けやき	1,009人	1,022人	98.7%
	ひまわりA	3,253人	3,302人	98.5%
	ひまわりB	192人	209人	91.9%
	さつき	632人	639人	98.9%
	協会けんぽ	8,359人	7,943人	105.2%
	豊田市総合がん	407人	346人	117.6%
	内容指定ドック	8,529人	8,596人	99.2%
	脳ドック	1,123人	1,202人	93.4%
	肺ドック	293人	175人	167.4%
	動脈硬化ドック	116人	－	0.0%
年代別	29歳以下	796人	841人	94.6%
	30歳代	4,276人	4,278人	100.0%
	40歳代	7,493人	7,384人	101.5%
	50歳代	7,025人	6,759人	103.9%
	60歳代	3,656人	3,558人	102.8%
	70歳以上	667人	614人	108.6%
合計	受診者数	23,913人	23,434人	102.0%
	健診日数	293日	293日	100.0%
	1日当り受診者数	81.6人	80.0人	102.0%

検査別精密検査率	
内科診察	0.4%
眼圧	0.2%
眼底	0.7%
肺機能	0.8%
血圧	1.5%
心電図	2.4%
負荷心電図	1.5%
胸部X線	0.2%
胃部X線	3.3%
その他の消化管	8.6%
脂質代謝	7.7%
肝機能	5.1%
膵機能	0.2%
尿酸	4.1%
血清	1.2%
糖代謝	2.0%
血液一般	2.7%
腎機能	1.0%
電解質	0.2%
尿一般	1.4%
便潜血	4.6%
腹部超音波	0.8%
前立腺	2.3%
子宮頸がん	1.1%
婦人科	2.7%
乳がん	2.6%
骨密度	0.6%
総合判定	27.7%



4.2.2 総合健診（人間ドック）地域別受診者数

地域	豊田市								みよし市	その他	合計
	旧市内	藤岡地区	小原地区	下山地区	旭地区	足助地区	稲武地区	小計			
当年度	15,134人	1,243人	274人	246人	182人	491人	125人	17,695人	1,323人	4,895人	23,913人
構成比	63.3%	5.2%	1.1%	1.0%	0.8%	2.1%	0.5%	74.0%	5.5%	20.5%	100.0%
前年度	14,815人	1,170人	268人	237人	191人	439人	121人	17,241人	1,323人	4,870人	23,434人
前年度比	102.2%	106.2%	102.2%	103.8%	95.3%	111.8%	103.3%	102.6%	100.0%	100.5%	102.0%

4.2.3 他の健診受診者数

< 特定健診関係 >

健診の種類		平成29年度	平成28年度	前年度比
豊田市健康診査	特定健診	5,191人	5,533人	93.8%
	後期高齢者健診	1,938人	1,712人	113.2%
社会保険等特定健診		699人	720人	97.1%
生き生き健診		85人	70人	121.4%
合計		7,913人	8,035人	98.5%

< 保健指導関係 >

区分			平成29年度	平成28年度	前年度比%
特定保健指導	積極的支援	初回面接	31人	40人	77.5%
		実績評価	30人	40人	75.0%
	動機付け支援	初回面接	39人	16人	243.8%
		実績評価	18人	35人	51.4%
	一般保健指導			376人	369人
合計			494人	500人	98.8%

< 豊田市がん検診・肝炎検診 >

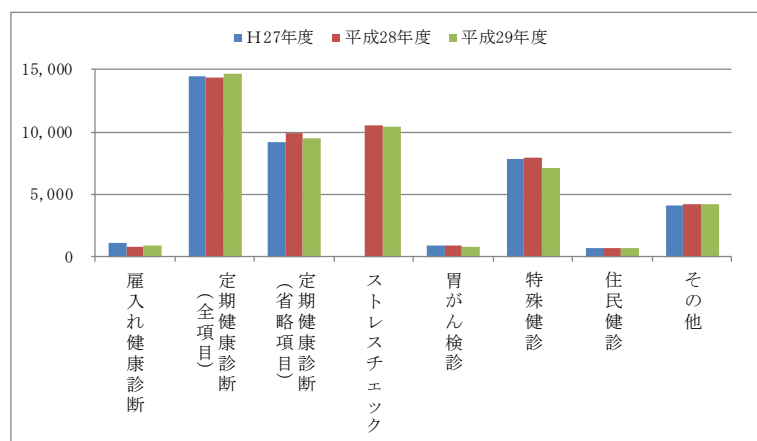
区分	平成29年度	平成28年度	前年度比%
胃がん検診	5,645人	5,986人	94.3%
大腸がん検診	7,458人	7,671人	97.2%
肺がん検診	6,043人	5,957人	101.4%
子宮がん検診	1,929人	2,148人	89.8%
乳がん検診	2,549人	2,843人	89.7%
前立腺がん検診	1,649人	1,731人	95.3%
肝炎検診	597人	452人	132.1%
合計	25,870人	26,788人	96.6%

< その他の健診 >

健診の種類	平成29年度	平成28年度	前年度比%
高齢者健診	170人	248人	68.5%
レディース検診	135人	170人	79.4%
骨粗しょう症健診	195人	186人	104.8%
簡易健診	822人	890人	92.4%
合計	1,322人	1,494人	88.5%

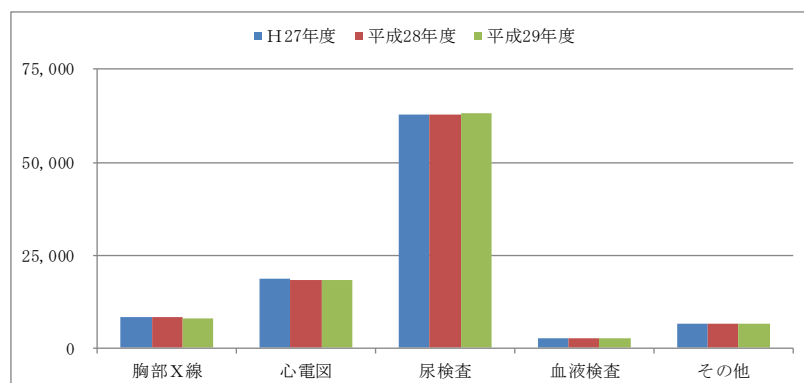
4.2.4 集団検診受診者数

区分		平成29年度	平成28年度	前年度比
事業所健診	雇入れ健康診断	860人	832人	103.4%
	定期健康診断（全項目）	14,708人	14,413人	102.0%
	定期健康診断（省略項目）	9,519人	9,957人	95.6%
	ストレスチェック	10,405人	10,566人	98.5%
	胃がん検診	831人	866人	96.0%
	特殊健診	7,146人	7,936人	90.0%
住民健診		643人	678人	94.8%
その他		4,212人	4,236人	99.4%
合計		48,324人	49,484人	97.7%



4.2.5 学校健診

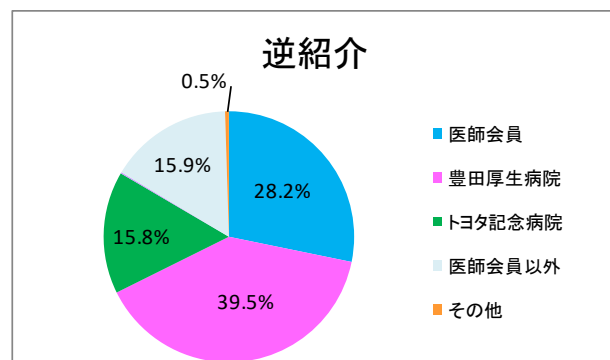
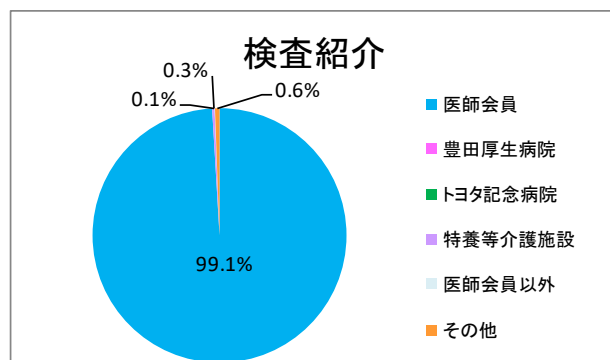
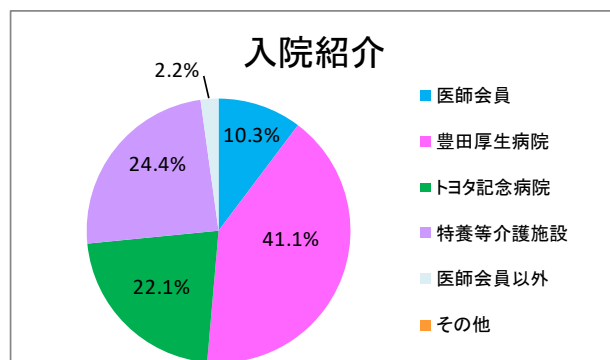
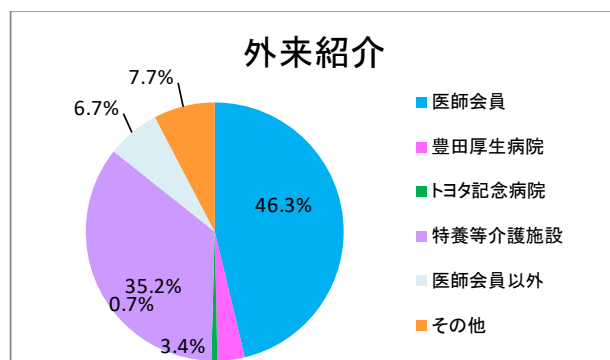
区分	平成29年度	平成28年度	前年度比
胸部X線	8,125人	8,203人	99.0%
心電図	18,199人	18,194人	100.0%
尿検査	63,205人	62,851人	100.6%
血液検査	2,532人	2,652人	95.5%
その他	6,526人	6,701人	97.4%
合計	98,587人	98,601人	100.0%



4.3 地域医療連携実績

4.3.1 紹介患者実績

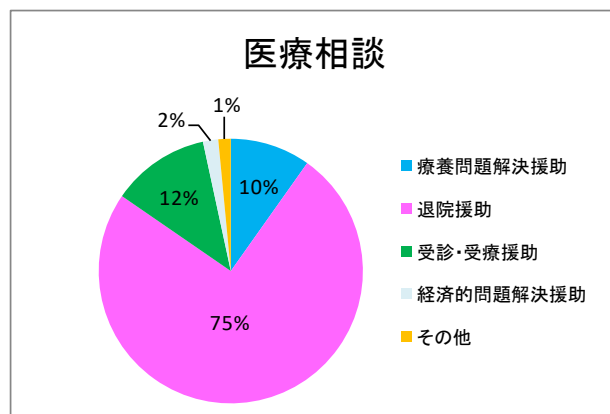
区分		年度	H29年度	H28年度	前年度比
外 来 紹 介 患 者 数			1,081人	1,121人	96.4%
入院紹介患者数	一 般 病 棟		676人	673人	100.4%
	回 復 期 病 棟		185人	175人	105.7%
	療 養 病 棟		5人	9人	55.6%
	小 計		866人	857人	101.1%
検査紹介患者数	M R I	頭 部	252人	257人	98.1%
		軀 幹	569人	497人	114.5%
		四 肢	119人	77人	154.5%
	C T	頭 部	66人	76人	86.8%
		軀 幹	445人	488人	91.2%
		四 肢	18人	11人	163.6%
	内 視 鏡	上 部	245人	290人	84.5%
		下 部	100人	97人	103.1%
	X線透視	胃 部	1人	0人	100.0%
		大 腸	1人	1人	100.0%
	超 音 波	腹 部	55人	94人	58.5%
		心 臓	27人	25人	108.0%
		その他	10人	13人	76.9%
	そ の 他		18人	20人	90.0%
	小 計		1,926人	1,946人	99.0%
合 計			3,873人	3,924人	98.7%



区分		年度	H29年度	H28年度	前年度比
逆紹介患者数			2,456人	2,524人	97.3%

4.3.2 医療相談実績

区分		年度	H29年度	H28年度	前年度比
医 療 相 談 件 数			6,201人	5,385人	115.2%



4. 4 在宅実績

4. 4. 1 地域包括支援実績

区分 \ 年度	H29年度	H28年度	前年度比
家族介護交流事業	12回	9回	133. 3%
介護予防教室	2回	4回	50. 0%
認知症サポーター養成講座	3回	2回	150. 0%
出前講座	6回	7回	85. 7%
地域ケア会議	11回	5回	220. 0%
認知症カフェ	10回	0回	
地域行事参加	18回	0回	

区分 \ 年度	H29年度	H28年度	前年度比
介護予防支援	1, 090件	951件	114. 6%
新規契約者数	51件	40件	127. 5%
相談件数	2, 978件	2, 968件	100. 3%

4. 4. 2 居宅介護支援実績

区分 \ 年度	H29年度	H28年度	前年度比
要 支 援 1	0人	12人	0. 0%
要 支 援 2	0人	0人	0. 0%
要 介 護 1	275人	347人	79. 3%
要 介 護 2	223人	245人	91. 0%
要 介 護 3	217人	143人	151. 7%
要 介 護 4	190人	150人	126. 7%
要 介 護 5	109人	89人	122. 5%
合 計	1, 014人	986人	102. 8%

区分 \ 年度	H29年度	H28年度	前年度比
契約者数	1, 098人	1, 084人	101. 3%
新契約者数	31人	49人	63. 3%
相談受付	50人	77人	64. 9%

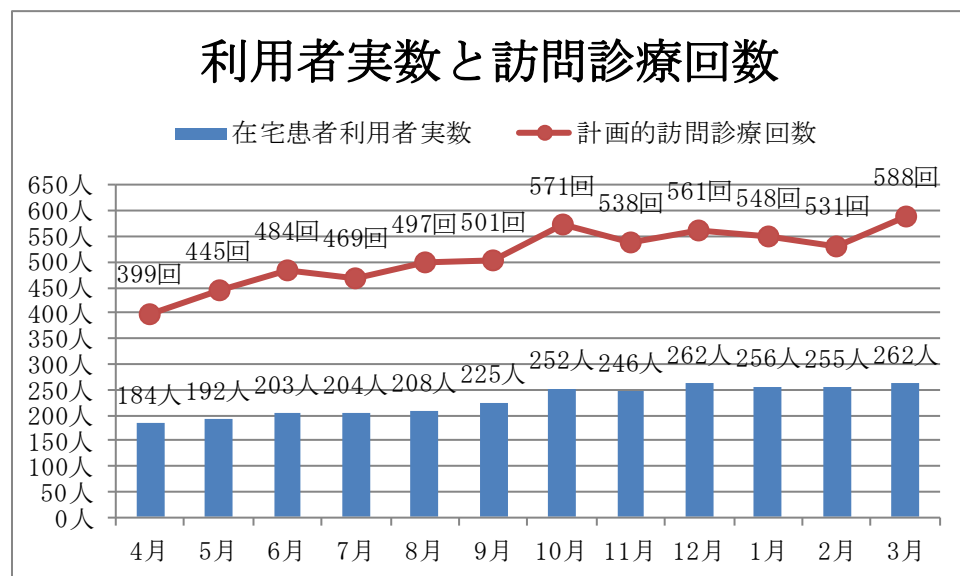
4. 4. 3 訪問看護実績

区分 \ 年度	H29年度	H28年度	前年度比
利用者実数	2, 224人	1, 867人	119. 1%
24時間緊急対応（予定外）			
出勤	738人	610人	120. 0%
電話	256人	218人	
新規利用者数	125人	153人	81. 7%
終了者数（死亡を含む）	111人	144人	77. 1%
入所・入院者数	380人	293人	129. 7%
在宅看取り件数	36人	60人	60. 0%

年度 区分		H29年度	H28年度	前年度比
訪問看護	介護保険	6,661件	5,129件	129.9%
	医療保険	3,704件	2,959件	125.2%
	小計	10,365件	8,088件	128.2%
訪問リハビリ	介護保険	1,464件	1,396件	104.9%
	医療保険	1,158件	1,097件	105.6%
	小計	2,622件	2,493件	105.2%
合計		12,987件	10,581件	122.7%

4.4.4 訪問診療実績

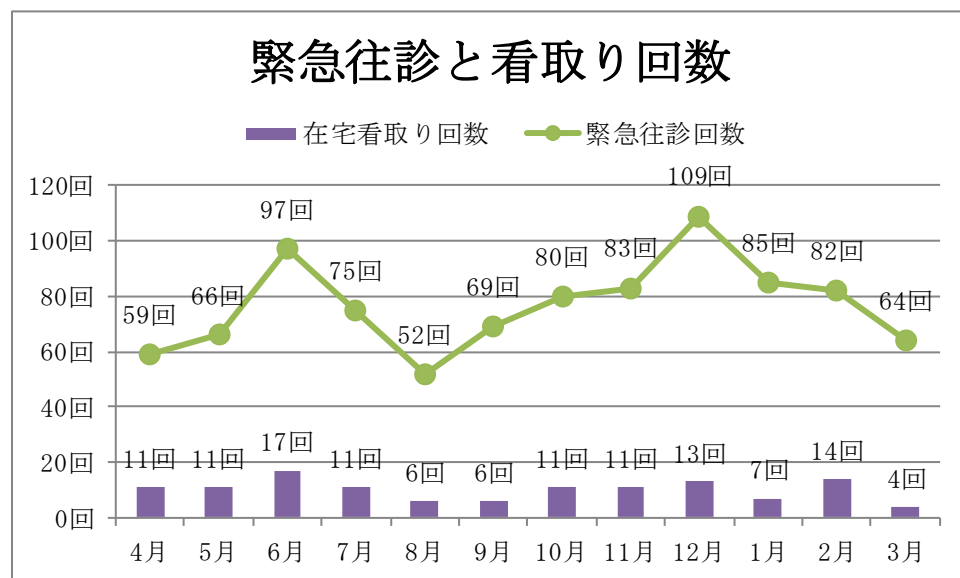
区分	年度		
	H29年度	H28年度	前年度比
計画的訪問診療回数	6,132回	3,308回	185.4%
緊急往診回数	921回	494回	186.4%



計画的な

訪問回数：年間 6,132 回

利用者数：最高 262 人



緊急往診：年間 921 回

在宅看取：年間 122 回

4.5 部門実績

4.5.1 医療安全管理部門

＜職種別アクシデント・インシデント件数＞

職種	アクシデント件数		インシデント件数	
	H29 年度	H28 年度	H29 年度	H28 年度
医師	0 件／年	0 件／年	1 件／年	0 件／年
看護師	7 件／年	1 件／年	544 件／年	583 件／年
薬剤師	0 件／年	0 件／年	14 件／年	23 件／年
技師等	0 件／年	0 件／年	114 件／年	158 件／年
事務職員	0 件／年	0 件／年	13 件／年	5 件／年
その他	0 件／年	0 件／年	0 件／年	0 件／年
合 計	7 件	1 件	686 件	769 件

＜内容別アクシデント・インシデント件数＞

内容	アクシデント件数		インシデント件数	
	H29 年度	H28 年度	H29 年度	H28 年度
薬剤	0 件／年	0 件／年	207 件／年	271 件／年
輸血	0 件／年	0 件／年	0 件／年	0 件／年
治療・処置	0 件／年	0 件／年	11 件／年	11 件／年
医療機器等	0 件／年	0 件／年	10 件／年	4 件／年
ドレーン	0 件／年	0 件／年	113 件／年	124 件／年
検査	0 件／年	0 件／年	48 件／年	66 件／年
治療上の世話	7 件／年	1 件／年	243 件／年	237 件／年
その他	0 件／年	0 件／年	54 件／年	56 件／年
合 計	7 件	1 件	686 件	769 件

＜内容別アクシデント・インシデント発生比率＞

内容比率 (%)	H29 年度	H28 年度	※日本医療機能評価
薬剤	29.9%	35.2%	30.0%
輸血	0%	0%	0.4%
治療・処置	1.6%	1.4%	5.5%
医療機器等	1.4%	0.5%	3.2%
ドレーン	16.3%	16.1%	10.1%
検査	6.9%	8.6%	8.8%
治療上の世話	36.1%	30.9%	25.0%
その他	7.8%	7.3%	17.0%

※日本医療機能評価

平成 27 年度病床規模別発生件数報告（病床数が 100～199 床の医療機関）における発生比率

4.5.2 感染管理部門

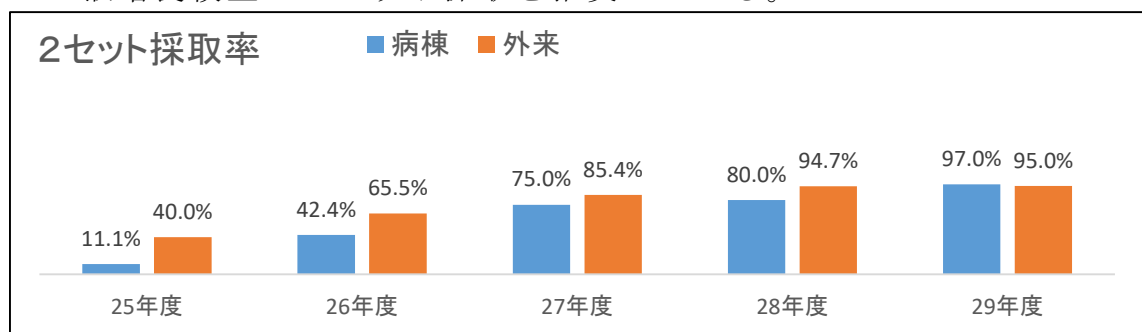
< 薬剤耐性菌の分離件数 >

内容	H 29 年度	H 28 年度	H 27 年度
メチシリン耐性菌黄色ブドウ球菌（MRSA）	59 件	56 件	38 件
バンコマイシン耐性陽球菌（VRE）	0 件	0 件	0 件
多剤耐性緑膿菌（MDRP）	0 件	0 件	0 件
ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）	0 件	0 件	0 件
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（VRSA）	0 件	0 件	0 件
多剤耐性アシネトバクタ属（MDRA）	0 件	0 件	0 件
基質特異性拡張型 β ラクタマーゼ（ESBLs）	62 件	60 件	23 件
β ラクタマーゼ陰性 ABCP 耐性インフルエンザ菌（BLNAR）	3 件	4 件	1 件
メタロ β ラクタマーゼ産生菌	0 件	0 件	0 件
カルバペネム耐性腸内細菌（CRE）	4 件	0 件	0 件
その他	0 件	0 件	0 件

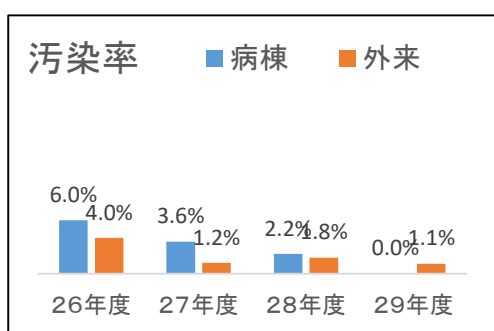
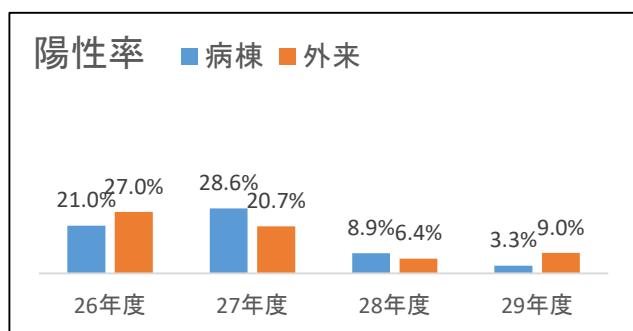
・厚生労働省サーベイランス事業（全入院部門・検査部門）に参加。

< 血液培養検査状況 >

・血液培養検査の 2 セット採取を推奨している。



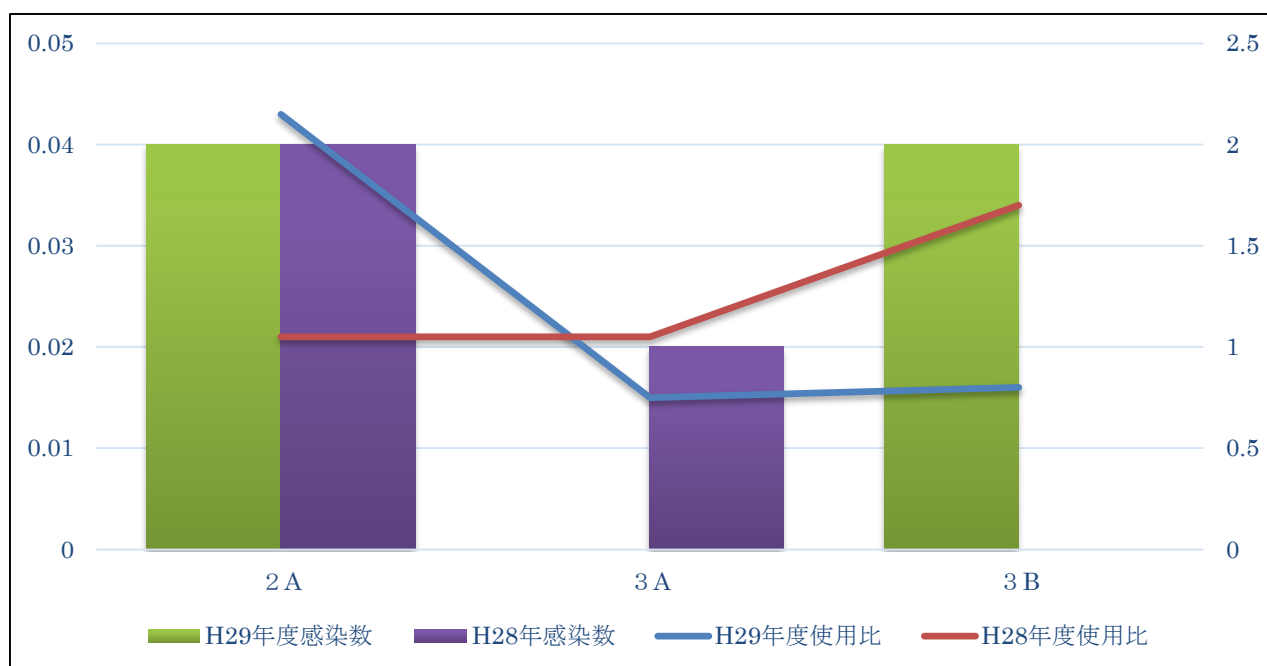
・依頼件数増加により陽性率は低下した。



< 医療関連感染の発生件数 >

内容	H 29 年度	H 28 年度	H 27 年度
中心ライン関連血流感染	4 件	3 件	4 件

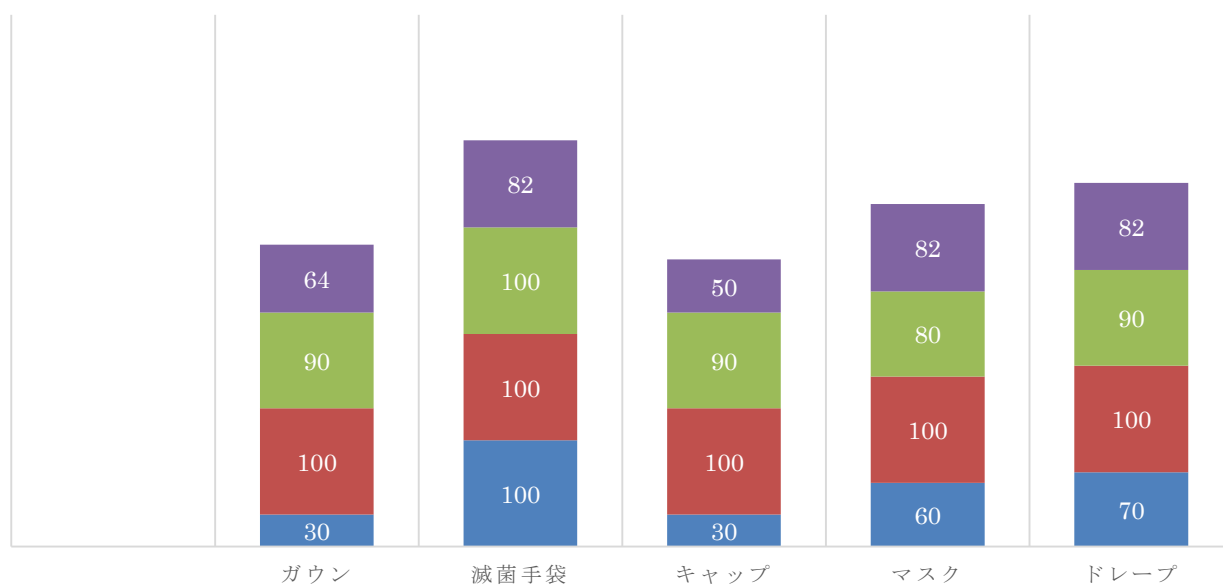
< 中心ライン使用比と部署別感染症昨年度との比較 >



- ・ 中心ライン使用比は昨年と大きな変化はない。
平成 29 年度 4 件の感染症例があった。
- ・ 当院で新規に挿入される件数は 11 件で昨年と変わらなかった。

マキシマル・バリアプリコーション遵守状況(%)

■ 平成27年度上半期 ■ 平成27年度下半期 ■ 平成28年度全期 ■ 平成29年度全期



- ・ マキシマル・バリアプレコーションの遵守は H27 年度を境に遵守状況が下がっている。
- ・ 特にキャップ・ガウンの使用率が下がる結果となった。

4.5.3 診療部門

＜主な入院指導・管理件数＞

内容	H29 年度	H28 年度
救急医療管理加算	2,344 件	2,267 件
在宅患者緊急入院診療加算	4 件	2 件
難病患者等入院診療加算	659 件	690 件
退院支援加算	396 件	245 件
地域連携診療計画加算	104 件	61 件
介護支援連携指導料	50 件	85 件
退院時共同指導料	116 件	67 件

＜主な外来指導・管理件数＞

内容	H29 年度	H28 年度
特定疾患療養管理料	8,045 件	7,902 件
難病外来指導管理料	362 件	360 件
夜間休日救急搬送医学管理料	502 件	556 件

＜時間外・救急件数＞

内容	H29 年度	H28 年度
救急車搬入数	1,024 件	1,115 件
救急車転送患者数	231 件	195 件
時間外・救急入院患者数	184 件	243 件

＜栄養指導件数＞

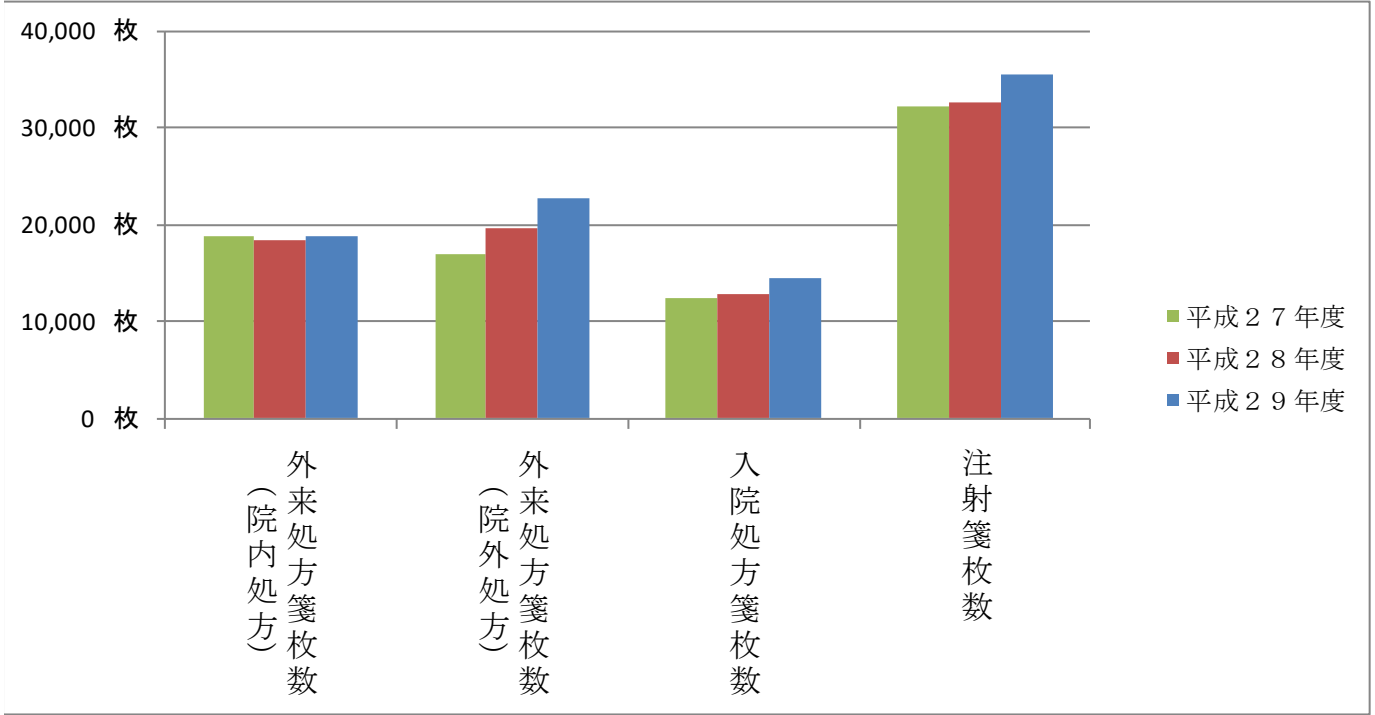
内容	H29 年度	H28 年度
外来栄養食事指導料	853 件	724 件
入院栄養食事指導料	100 件	115 件
訪問栄養指導（医療保険及び介護保険含む）	73 件	61 件

※ 算定件数を計上

4.5.4 薬剤部門

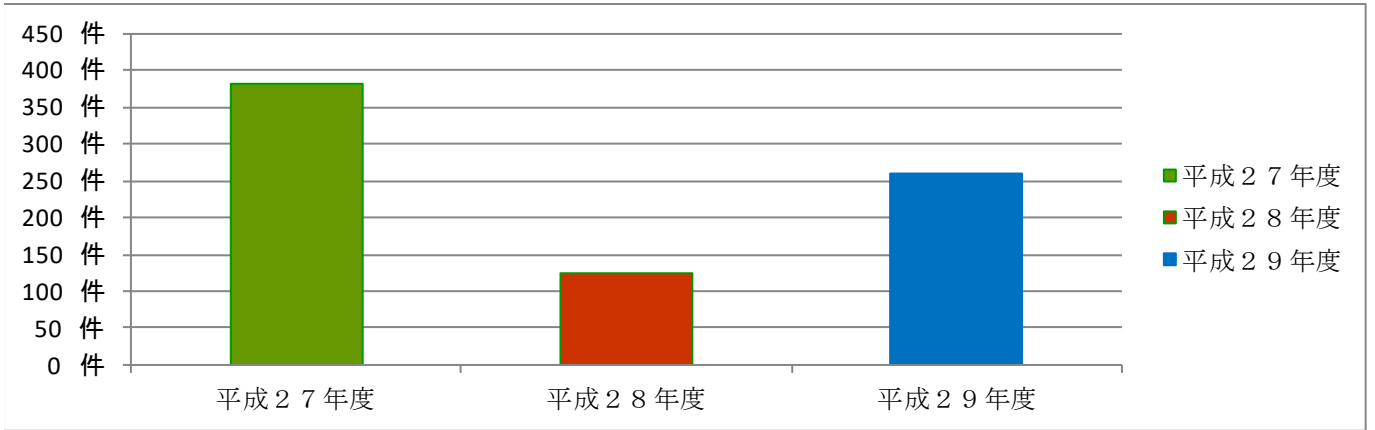
＜処方箋件数＞

処方箋枚数	平成 2 9 年度	平成 2 8 年度	平成 2 7 年度
外来処方箋枚数（院内処方）	18,834 枚	18,521 枚	18,927 枚
外来処方箋枚数（院外処方）	22,783 枚	19,657 枚	16,921 枚
入院処方箋枚数	14,443 枚	12,964 枚	12,431 枚
注射箋枚数	35,503 枚	32,620 枚	32,162 枚



＜薬剤指導管理件数＞

薬剤管理指導件数	平成 2 9 年度	平成 2 8 年度	平成 2 7 年度
薬剤管理指導料 退院時薬剤情報管理指導料	259 件	124 件	382 件



4.5.5 診療放射線部門

<撮影件数>

件 数		H29年度	H28年度	H27年度
一般撮影		65,308件	66,101件	65,719件
X線TV	注腸	16件	14件	33件
	UGI	24,946件	25,393件	25,830件
	その他	69件	64件	103件
乳房X線撮影		5,346件	5,673件	5,775件
CT検査	頭部	1,109件	1,163件	1,217件
	躯幹	3,598件	3,108件	3,209件
	四肢	52件	49件	31件
MRI検査	頭部	1,852件	1,975件	2,004件
	躯幹	632件	554件	575件
	四肢	138件	115件	117件
骨密度検査		3,026件	3,122件	3,247件
パノラマ撮影（歯科）		4件	0件	3件

4.5.6 臨床検査部門

<検査件数（検体・細菌・病理）>

検査項目	H29年度	H28年度	H27年度
生化・免疫検査	70,765件	69,310件	68,456件
血液検査	61,370件	60,306件	59,733件
一般検査	124,150件	125,780件	125,451件
微生物検査	2,536件	2,163件	1,852件
病理・細胞診検査	12,194件	11,661件	11,615件
循環機能検査	69,245件	68,552件	69,620件
呼吸機能検査	10,947件	10,468件	10,961件
超音波検査	18,136件	18,235件	18,364件

4.5.7 手術部門

＜手術件数＞

領 域	内 容	H29年度		H28年度
胃	胃全摘術	1件	2件	7件
	胃切除術	1件		
肝胆膵	腹腔鏡下胆嚢摘出術	5件	5件	2件
大腸	結腸切除術	5件	25件	21件
	人工肛門造設術	1件		
	腹腔鏡下人工肛門造設術	1件		
	人工肛門閉鎖術	1件		
	ヘルニア手術	14件		
	腹腔鏡下ヘルニア手術	3件		
虫垂	腹腔鏡下虫垂切除術	5件	5件	6件
その他消化管	腫瘍摘出術	0件	0件	5件
乳房	乳腺腫瘍摘出術	0件	0件	1件
骨折	骨折観血的手術	6件	11件	9件
	骨折経皮的鋼線刺入固定術	1件		
	骨内異物除去術	4件		
その他	皮下腫瘍摘出術	5件	7件	7件
	皮膚切開術	1件		
	中心静脈カテーテル埋め込みポート	1件		
合 計		55件		58件

4.5.8 リハビリテーション部門

<リハビリテーション単位>

(1) 診療種別

単位数		H29年度	H28年度	H27年度
脳血管	理学療法	19,706単位	17,463単位	18,474単位
	作業療法	16,528単位	14,552単位	14,957単位
	言語療法	9,794単位	12,406単位	13,071単位
	小計	46,028単位	44,421単位	46,502単位
運動器 I	理学療法	29,686単位	25,483単位	24,240単位
	作業療法	22,345単位	20,088単位	17,445単位
	小計	52,031単位	45,571単位	41,685単位
呼吸器	理学療法	1,253単位	531単位	700単位
	作業療法	735単位	357単位	473単位
	小計	1,988単位	888単位	1,173単位
摂食嚥下	言語療法	1,765単位	1,788単位	1,645単位
物忘れ	作業療法	476単位	576単位	640単位
総合計単位数		102,288単位	93,244単位	91,645単位

(2) 部門別

単位数	H29年度	H28年度	H27年度
理学療法	50,645単位	43,477単位	43,414単位
作業療法	40,084単位	35,573単位	33,515単位
言語療法	11,559単位	14,204単位	14,716単位
総合計単位数	102,288単位	93,254単位	91,645単位

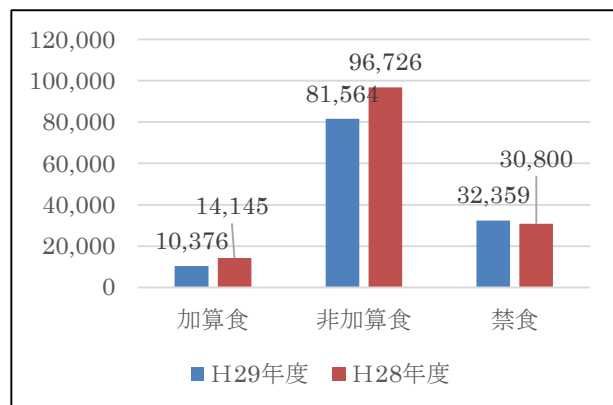
(3) 入院・外来別総合単位数

単位数		H29年度	H28年度	H27年度
入院	入院単位数	100,734単位	90,966単位	89,667単位
外来	外来単位数	1,554単位	2,288単位	1,978単位
総合計単位数		102,288単位	93,254単位	91,645単位

4.5.9 栄養管理部門

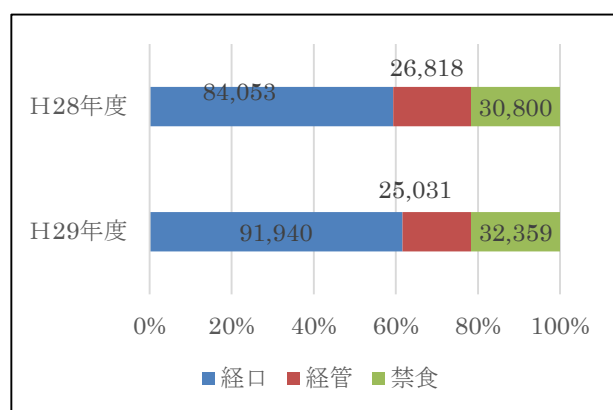
＜患者食提供件数＞

内 容	H29 年度	H28 年度
加算食	10,376 件	14,145 件
非加算食	81,564 件	96,726 件
禁食	32,359 件	30,800 件
総合計	149,330 件	141,671 件



＜経口摂取と経管栄養の内訳＞

内 容	H29 年度	H28 年度
経口	91,940 件	84,053 件
経管	25,031 件	26,818 件
禁食	32,359 件	30,800 件
総合計	149,330 件	141,671 件

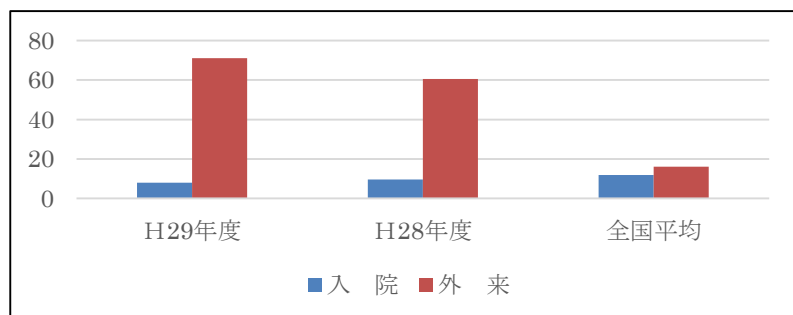


＜入院・外来栄養指導算定件数＞

当院における1ヶ月の算定指導実績と全国調査の比較

内 容	H29 年度	H28 年度	※全国平均
入 院	8.00 件	9.58 件	11.88 件
外 来	71.08 件	60.50 件	16.12 件

※平成26年度全国病院栄養部門実態調査（病床別100～199床）より



＜訪問栄養指導件数＞

1ヶ月の算定実績

内 容	H29 年度	H28 年度
訪問栄養指導	6.92 件	5.08 件

5 委員会状況

5.1 委員会一覧

- 医事紛争処理委員会
- 倫理委員会
- 臨床研修委員会
- 医療安全管理委員会
- 院内感染対策委員会
- 診療実務委員会
- 健診運営委員会
- サービス向上委員会
- IT 委員会
- 診療報酬委員会
- 内視鏡室運営委員会
- 栄養管理委員会
- N S T 委員会
- 褥瘡防止対策委員会
- 薬事材料委員会
- 臨床検査適正化・輸血療法委員会
- 入退院判定会
- 医療ガス安全管理委員会
- 災害対策委員会
- 広報委員会
- 衛生委員会

5.2 主な委員会の活動報告

5.2.1 医療安全管理委員会

1) 委員会目的

当院における医療安全管理体制の確立、医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法等について、適切に医療安全管理を推進し、安全な医療の提供に資することを目的とする。委員会は毎月第4木曜日に開催する。

2) 会議内容

- ・インシデント事故報告、セーフティマネージメント部会、事故防止のための対策・改善、研修会計画、医療過誤情報等の定例内容をはじめ医療安全に関する内容

3) 主な活動内容

開催日	研修名	参加者
H29/ 4/ 4	新採用者医療安全管理オリエンテーション	新規採用者【20名】
H29/ 7/27	医療安全管理研修 看護部補助員	【補助職員12名】
H29/ 8/25	医療安全管理研修 看護部介護員	【介護職員10名】
H29/ 9/ 7	医療安全管理研修会	【全職員330名】
H29/ 9/14	医療安全管理研修会	【全職員330名】
H29/ 9/28	医療安全管理研修 看護部介護員	【介護職員10名】
H30/ 3/ 7	院内安全フォーラム	【全職員235名】

●セーフティマネージメント部会WGより

①月別インシデントアクシデント発生件数推移（単位：件）

■説明

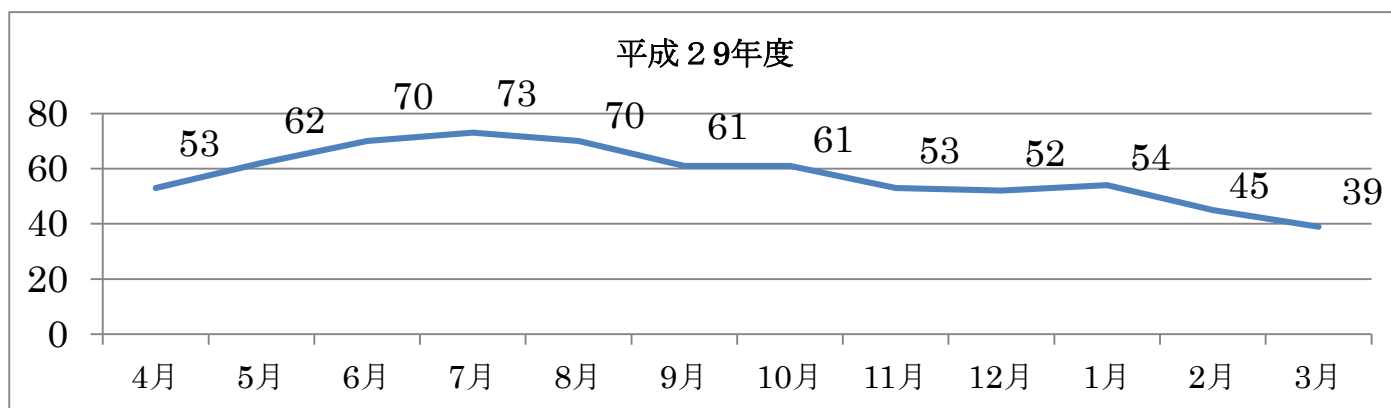
医療安全管理委員会はインシデント／アクシデントレポートとして報告された件数を毎月報告をしてその推移を調査しております、。この指標は、一般社団法人日本病院会 2013 医療安全に係わる報告書で比較ができます。

■定義

インシデントアクシデント各月の発生件数

■比較指標

一般社団法人日本病院会 2013 医療安全に係わる報告書より病床規模別、100 床あたりのヒヤリ・ハット件数では、いずれの病床規模別においても 37.6～ 42.5 件



②転倒転落 発生率 (単位:‰)

■ 説明

病院に入院したにもかかわらず、ベッド周辺、歩行途中、トイレに行く戻りなど思わぬところで転倒 転落があります。医療安全管理委員会にインシデント／アクシデントレポートとして報告された件数をもとに、入院患者さん全体より転倒転落の報告がされた発生率を求めています。この指標は、一般社団法人日本病院会 2016 医療安全に係わる報告書で比較ができます。

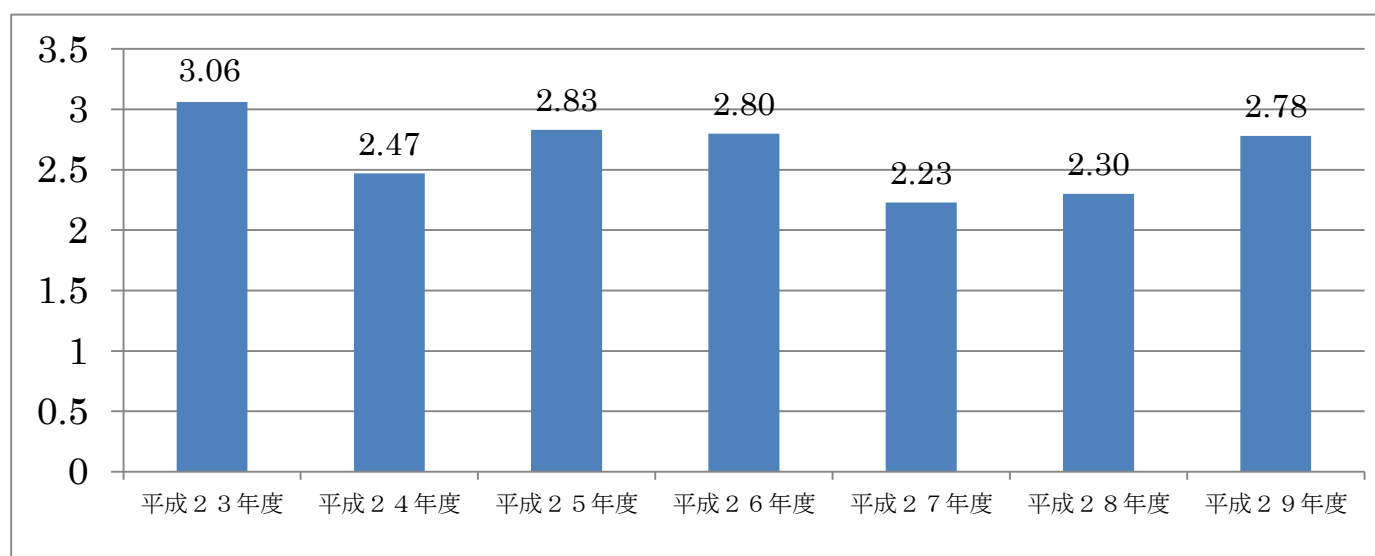
■ 定義

転倒・転落件数／入院患者延数

■ 比較指標

転倒転落発生率 2015 データー1 年間の平均は、平均値 2.64‰ (中央値 2.42‰)

2016 データー1 年間の平均は、平均値 2.72‰ (中央値 2.58‰)



5.2.2 院内感染対策委員会・ICT 委員会

1) 委員会目的

- 院内感染対策委員会：エイズ、MRSA、B 型肝炎及び結核などの院内感染予防対策を推進することを目的として毎月第 2 火曜日に開催する。
- ICT 委員会：院内感染防止のための調査・研究及び対策の確立に関し、迅速かつ機動的に活動することを目的として毎月第 1 火曜日に開催する。

2) 活動内容

＜院内感染対策委員会＞

定期開催 12 回開催。主に「感染症情報報告」「抗菌薬情報」「ICT 委員会報告」を行った。

- ・H29 年度は 2A 病棟での疥癬のアウトブレイク、3A、2B 病棟でのインフルザのアウトブレイクがあり臨時の院内感染対策委員会を 4 回開催し対応を協議した。

＜ICT 委員会＞

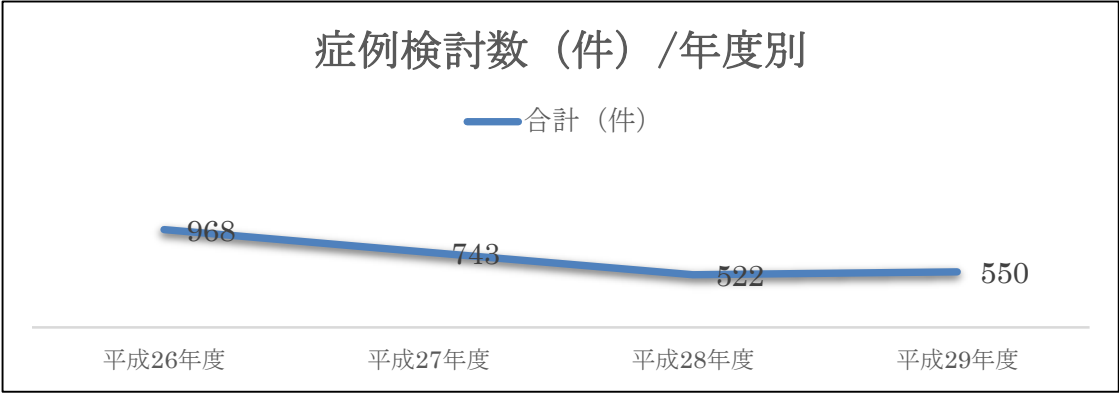
* 感染防止対策加算 *

- 中野胃腸科病院、北斗病院と感染防止対策加算 1、2 の連携活動を 9 月まで行い、10 月より感染防止対策加算を 2 に変更した。加算が 2 になった事で地域連携を豊田厚生病院と行うこととなった。ToRIC は継続し参加しており年 6 回参加している。

- 感染防止対策加算 1、2 合同カンファレンス内容

第 1 回（6 月 12 日）	第 2 回（9 月 11 日）
医療センター	北斗病院
1. サーベイランスデータの集計報告（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）（豊田地域医療センター松田、松井） 1) 手指擦式消毒剤の使用量報告 2) 抗菌薬サーベイランス報告 3) インフルエンザサーベイランスのまとめ 2 敗血症について、ワクチンセミナー参加報告（豊田地域医療センター松井） 3. 多職種ミーティング	1. サーベイランスデータの集計報告（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）（豊田地域医療センター成田） 1) 細菌検査集計報告 2) CRE について 2. 情報共有 1) SSI について 2) アウトブレイク対応マニュアルについて 3. 疥癬ガイドラインについて 4. 血管内留置カテーテル挿入部位及び血液培養時の皮膚消毒について 5. 合同カンファレンスについて

○抗菌薬症例カンファレンス
 <症例件数>



	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
平成 26 年度	85	100	88	94	106	68	86	66	64	58	76	77
平成 27 年度	95	70	65	54	82	65	45	56	69	58	43	41
平成 28 年度	42	45	55	45	42	38	33	52	39	35	35	61
平成 29 年度	51	53	34	49	51	30	55	47	37	60	52	31

<介入症例>

平成 26 年度 3 件、平成 27 年度 6 件、平成 28 年度 1 件、平成 29 年度 3 件。

（介入結果については電子カルテ→院内感染予防関係→ICT ラウンド→抗菌ラウンド介入事例参照）

○ICT ラウンド（チェックリストをもとに実施→指導→評価）

- ・ ICT スタッフを 3 グループ(手指衛生、感染経路別予防策、廃棄物の処理)に分け年間を通しラウンド実施し、結果をまとめ医療安全フォーラムにてポスター掲示を行った。

○感染防止対策チームラウンド（急性期：1 回／週、その他：1 回／月）

3B 病棟	外来	3A 病棟	2A 病棟	2B 病棟	薬剤部	検査科	放射線科	合計
40 回	11 回	12 回	11 回	13 回	6 回	9 回	18 回	120 回

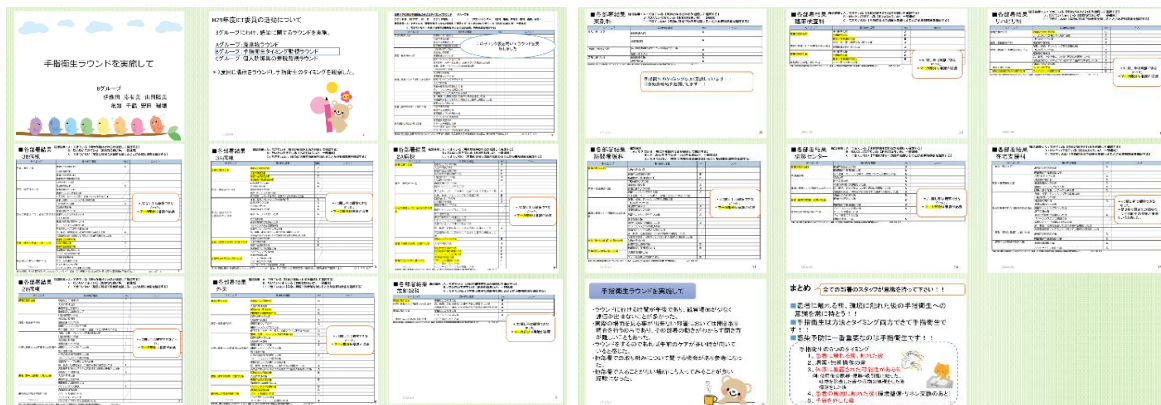
○医療安全フォーラムに参加。例年の「手指衛生」「N-95 マスクのフィットテスト」「新型インフルエンザを想定した防護具の着脱訓練」を行った。

○活動内容の掲示

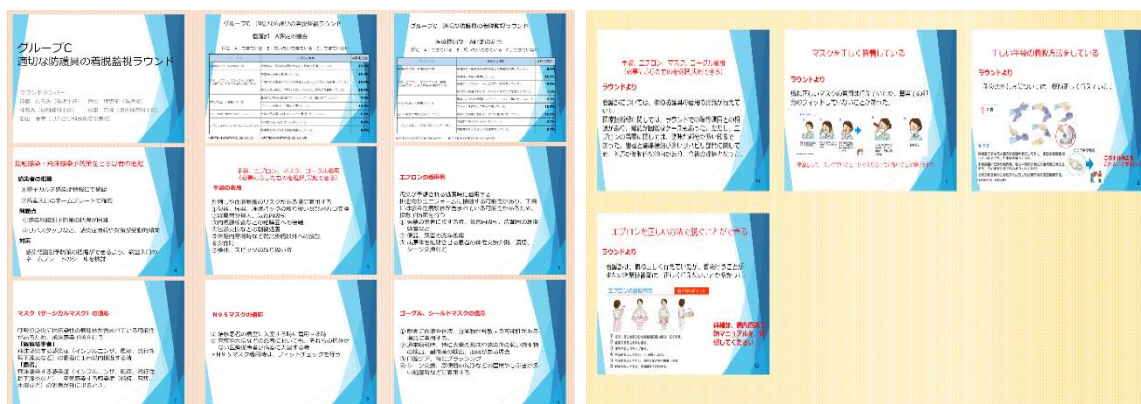
ICT ラウンド結果：廃棄物



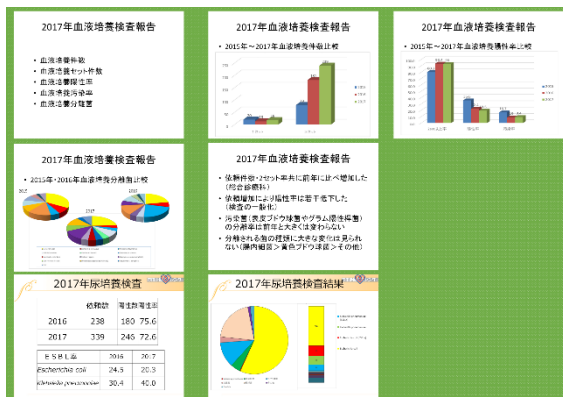
ICT ラウンド結果：手指衛生



ICT ラウンド結果：防護具



血液培養



中心静脈ラインの管理について



5.2.3 健診運営委員会

1) 委員会目的

開催日	会議内容
H29/04/28	・健診基本方針及び健診運営委員会要綱の内容確認について ・平成29年度健診センターの課題・検討事項 ・みよし市住民健診入札について ・5月の健診医師予定について
H29/05/26	・豊田西ロータリークラブ健康診断について ・豊田市職員ストレスチェック業務入札結果について ・みよし市住民健診入札結果について ・6月の健診医師予定について
H29/06/30	・名古屋刑務所職員定期健康診断入札について ・平成28年度豊田市がん検診・特定健診実績比較 ・7月の健診医師予定について
H29/07/24	・胃部内視鏡検査枠拡大について ・午後実施の検査について ・8月の健診医師予定について
H29/08/28	・健診部会からの報告 ・新規健診受診者調査について ・平成29年度研修計画について ・9月の健診医師予定について
H29/09/29	・NT-pro-BNPの院内測定について ・人間ドック健診施設機能評価受審部会からの報告 ・健診部会からの報告 ・10月の健診医師予定について
H29/10/27	・年末年始の健診実施について ・人間ドック健診施設機能評価受審部会からの報告 ・健診部会からの報告 ・上半期事業実績について ・11月の健診医師予定について
H29/11/24	・健診部会からの報告 ・健診満足度調査について ・業務改善アンケート調査について ・介護予防コホート研究アンケート調査について ・12月の健診医師予定について
H29/12/22	・平成30年度健診事業計画（案）について ・業務改善アンケート調査結果について ・動脈硬化ドックの午前実施について ・人間ドック健診施設機能評価訪問調査日について ・健診部会からの報告 ・1月の健診医師予定について
H30/01/26	・平成30年度健診システム更新について ・職員家族・友人等への人間ドック受診PR文（1月～3月の閑散期料金）の配布について ・平成30年度豊田市胃がん検診内視鏡検査について ・2月の健診医師予定について
H30/02/23	・平成30年度健診システム更新について ・脳ドックDコース（仮名）の運用について ・平成30年度愛知県立学校定期健康診断入札結果について ・平成30年度上部内視鏡枠について ・3月の健診医師予定について
H30/03/23	・平成30年度健診医師担当表（案）について ・平成30年度人間ドックにおける健保・事業所取扱い変更点 ・4月の健診医師予定について

院内及び院外の健診事業の運営調整に関することを目的として、毎月最終金曜日に開催する。

2) 会議内容

院内部会、院外部会、健診部会、高齢者健診検討部会、各科（課）から提出されてきた議題に対し、委員会で検討を行い、その結果を各部会および各科（課）にフィードバックし、健診基本方針に沿った健診事業が実施できるようにする。

5.2.4 サービス向上委員会

1) 委員会目的

患者さまに良質で快適な医療を提供することを目的として、毎月第4火曜日に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H29/ 4/25	意見・苦情等投書に対する検討、あいさつ運動の実施、患者満足度調査結果の報告
H29/ 5/23	意見・苦情等投書に対する検討
H29/ 6/27	意見・苦情等投書に対する検討、あいさつ運動実施後の反省
H29/ 7/25	意見・苦情等投書に対する検討
H29/ 8/22	意見・苦情等投書に対する検討
H29/ 9/26	意見・苦情等投書に対する検討
H29/10/24	意見・苦情等投書に対する検討
H29/11/28	意見・苦情等投書に対する検討、あいさつ運動の実施、健診受診者満足度調査の実施
H29/12/26	意見・苦情等投書に対する検討、あいさつ運動実施後の反省
H30/ 1/23	意見・苦情等投書に対する検討、患者満足度調査の実施、きらり賞（皆様の声報奨制度）の選考
H30/ 2/27	意見・苦情等投書に対する検討、きらり賞（皆様の声報奨制度）の選考
H30/ 3/27	意見・苦情等投書に対する検討、健診受診者満足度調査結果の報告

3) 主な活動内容

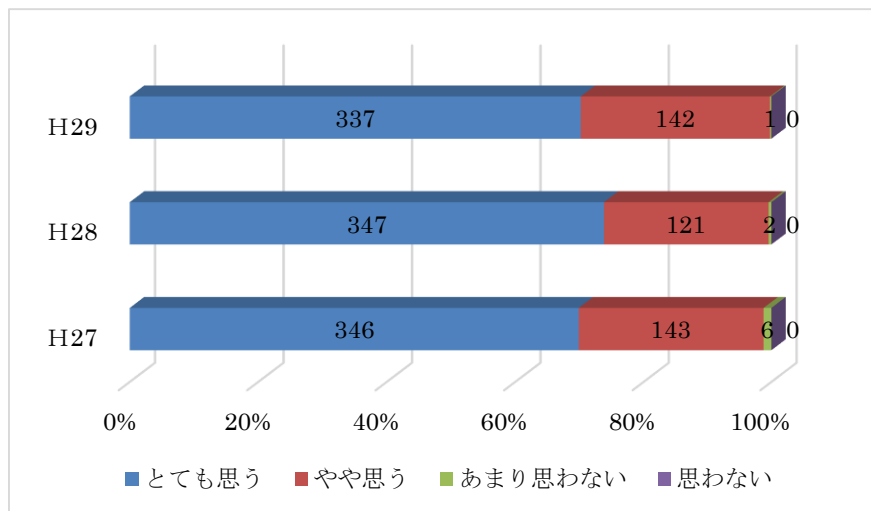
- ・ 病院ボランティア部会の開催（毎月）
- ・ あいさつ運動の実施（5月22日～26日、12月4日～8日）
- ・ 健診受診者満足度調査の実施（12月11日～16日）
- ・ 患者満足度調査の実施（2月19日～23日）
- ・ 外部講師招聘による接遇研修会の実施（3月27日）
「クレームの初期対応」
- ・ 皆様の声報奨制度“きらり賞”の選考

■皆様の声報奨制度“きらり賞”について

- ・ “きらり賞”は、日常業務において、患者・受診者等病院利用者への対応が優れており、他の模範となる個人又は部署（グループ）を表彰するものです。
- ・ 1年間（1月～12月）に寄せられた投書や職員の推薦を対象として、選考基準に照らし合わせ功績がとくに著しいと認められるものをサービス向上委員会委員の投票により決定します。平成29年度は、ナースコールをはじめとする丁寧な患者対応や常に明るく元気な挨拶が他の職員の模範になるとして推薦を受けた職員に“きらり賞”を授与しました。

■ 健診受診者満足度調査結果より

問) 今後もセンターを利用したいと思いますか？

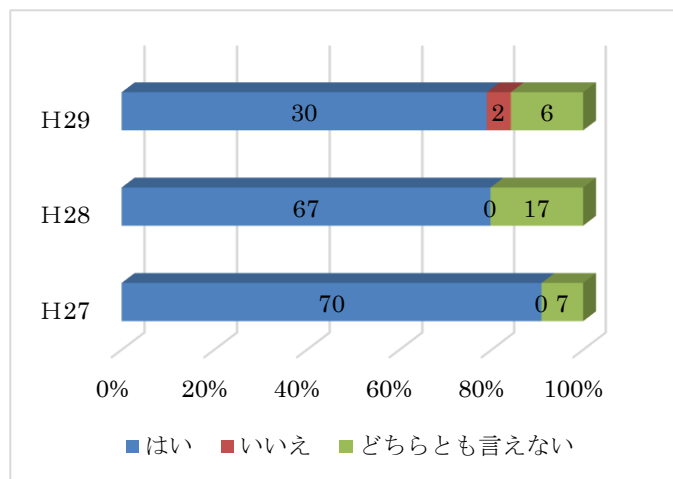
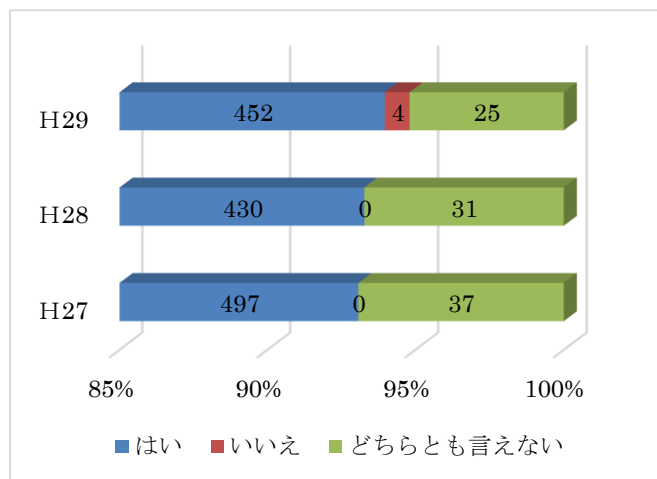


■ 患者満足度調査結果より

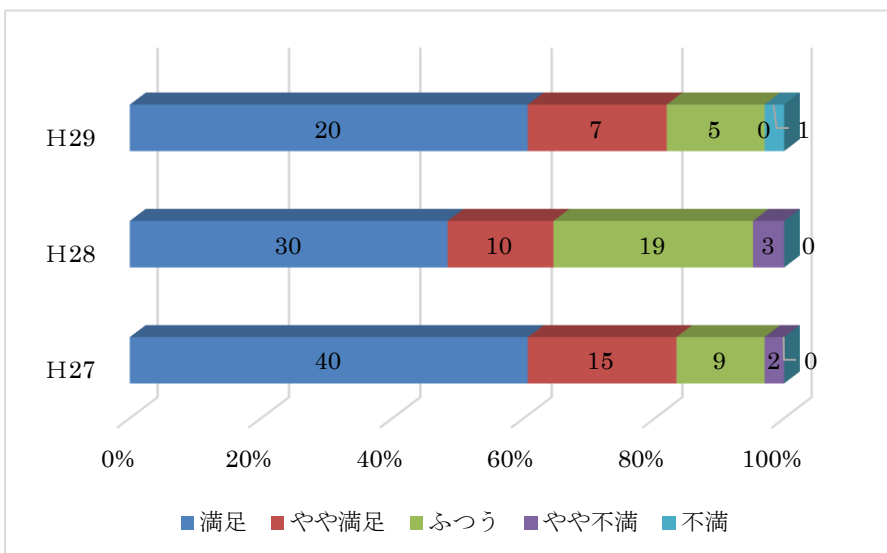
問) 今後もセンターを利用したいと思いますか？

[外来]

[入院]



問) ナースコールへの対応



5.2.5 診療報酬委員会

1) 委員会目的

保険診療の請求について適正な執行、周知徹底を図ることを目的として、隔月1回定期的に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H29/05/25	平成28年2月・3月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H29/07/27	平成28年4月・5月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H29/09/28	平成28年6月・7月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H29/11/30	平成28年8月・9月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H30/01/25	平成28年10月・11月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H30/03/20	平成30年度 診療報酬改定院内研修会

3) 主な活動内容

- ・診療報酬の減点分析報告と対策を検討した。
- ・委員会での内容を各医師へ報告した。
- ・診療報酬改定の院内研修会を開催した。

4) 査定率比較 (平成29年1月～平成29年12月)

		愛知県	医療センター
H29年1月分	支払基金	0.29%	0.04%
	国保連合会	0.24%	0.04%
H29年2月分	支払基金	0.32%	0.04%
	国保連合会	0.23%	0.01%
H29年3月分	支払基金	0.29%	0.00%
	国保連合会	0.24%	0.02%
H29年4月分	支払基金	0.30%	-0.02%
	国保連合会	0.23%	-0.04%
H29年5月分	支払基金	0.31%	0.05%
	国保連合会	0.25%	0.03%
H29年6月分	支払基金	0.31%	0.02%
	国保連合会	0.21%	0.03%
H29年7月分	支払基金	0.30%	0.01%
	国保連合会	0.23%	0.03%
H29年8月分	支払基金	0.30%	0.12%
	国保連合会	0.23%	0.03%
H29年9月分	支払基金	0.30%	0.12%
	国保連合会	0.24%	0.03%
H29年10月分	支払基金	0.30%	0.05%
	国保連合会	0.22%	0.03%
H29年11月分	支払基金	0.30%	0.04%
	国保連合会	0.22%	0.00%
H29年12月分	支払基金	0.32%	0.08%
	国保連合会	0.23%	0.02%

※ 再審査請求によって査定点数より復点が多い場合は、マイナス%となっている。

5.2.6 内視鏡室運営委員会

1) 委員会目的

内視鏡の安全かつ効率的な運営」を目的として、奇数月第3木曜日に開催する。
また、内視鏡室運営に関わる問題が生じた場合は、随時委員会を開催し迅速に対応する。

2) 会議内容

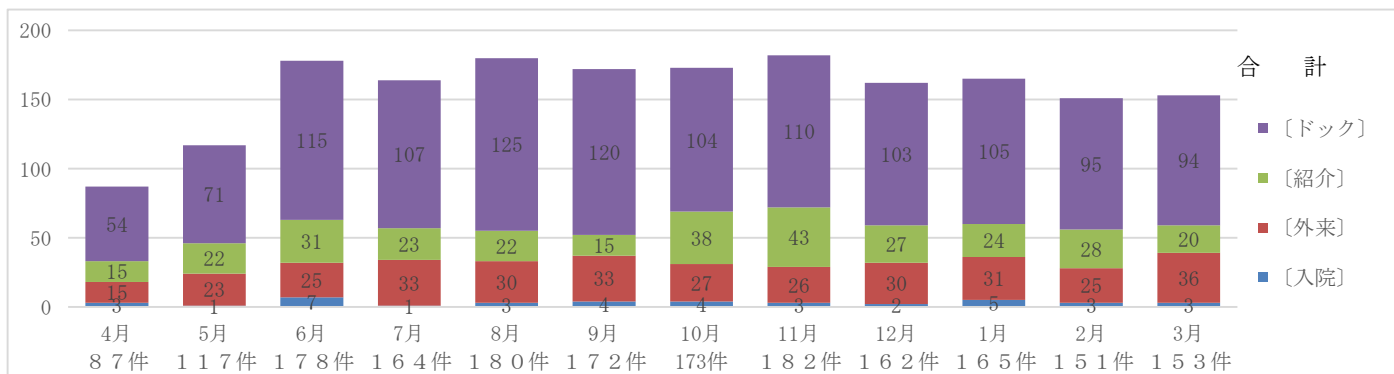
開催日	会 議 内 容
H29/ 7/24	1. 地域医療連携室からトヨタ自動車（株）従業員 胃健診要精検者の検査依頼について 2. 内視鏡検査説明書の抗凝固剤の記載文章について 3. 検診事業課より H30 年度内視鏡検査枠の拡大について
H29/ 9/28	1. 上部内視鏡検査における前処置の検討
H29/11/30	1. 抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン 直接経口抗凝固薬を含めた抗凝固策に関する追補について
H30/1/25	1. 下部内視鏡検査後の配布文章について 2. 平成 30 年度豊田市胃がん検診（内視鏡検査）における確認事項について

3) 主な活動内容

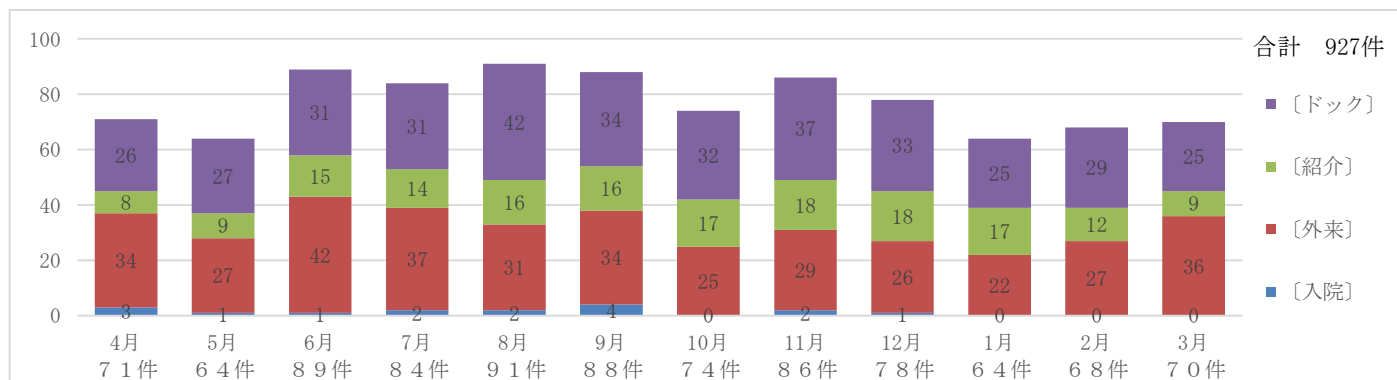
平成 29 年度 診療実績

内視鏡件数		特殊検査件数	
上部消化管内視鏡	1884 件	内視鏡的胃ろう造設術	5 件
（内訳）経口上部内視鏡	970 件	鎮痛・鎮静剤併用	9 件
経鼻上部内視鏡	914 件		
下部消化管内視鏡	927 件	内視鏡的大腸ポリープ切除術	308 件
		内視鏡的大腸粘膜切除術	89 件
		鎮痛・鎮静剤併用	45 件

上部消化管内視鏡検査 月別・発生別推移



下部消化管内視鏡検査 月別・発生別推移



年齢構成別患者数

項 目	年 齢	件 数	項 目	年 齢	件 数
上部消化管 内視鏡 1884 件	0～14	0 件	下部消化 管内視鏡 927 件	0～14	0 件
	15～64	1220 件		15～64	464 件
	65 以上	664 件		65 以上	463 件

癌所見発見数とその後の経過

区 分			件数
上部消化管 内視鏡	13 件	医療センターで手術	2 件
		他病院へ紹介など	11 件
下部消化管 内視鏡	26 件	医療センターで手術	7 件
		他病院へ紹介など	18 件
		6 か月後の経過観察	1 件

大腸内視鏡治療における偶発症発生率

区 分	医療センター	全国平均
偶発症	0.002%	0.011%

※全国平均:「消化器内視鏡関連の偶発症に関する第6回全国調査報告
2008～2012 までの5年間」より

5.2.7 栄養管理委員会

1) 委員会目的

患者の栄養管理と適切な食事提供を目的として、隔月第3月曜日に開催する

2) 活動実績

(1) 行事食

月 日	行事食名	月 日	行事食名	月 日	行事食名
4月4日	お花見弁当	5月5日	端午の節句	6月6日	あじさい弁当
7月7日	七夕	7月25日	土用の丑	8月30日	残暑見舞い
10月4日	十五夜	10月25日	行楽弁当	11月21日	紅葉弁当
12月24日	クリスマス	12月31日	大晦日	1月1日	元旦
2月3日	節分	3月3日	ひま祭り		

(2) 患者食満足度調査

実施日	内容	対象者
平成29年5月15日～19日	無記名記入方式	84名 回答率77%
平成29年11月13日～17日	無記名記入方式	83名 回答率63%

1. 調査期間 平成29年11月13日(月)～17日(金)

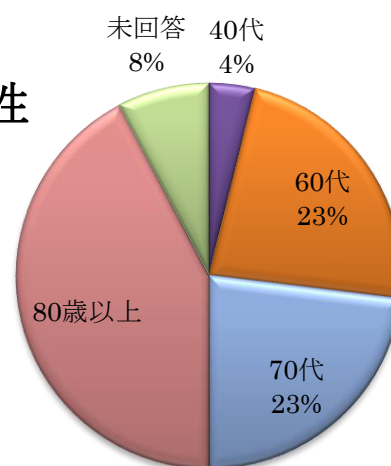
2. 方 法 無記名記入方式(但し、記入困難者は職員が聞き取り記入)

3. 結 果 次の通りです

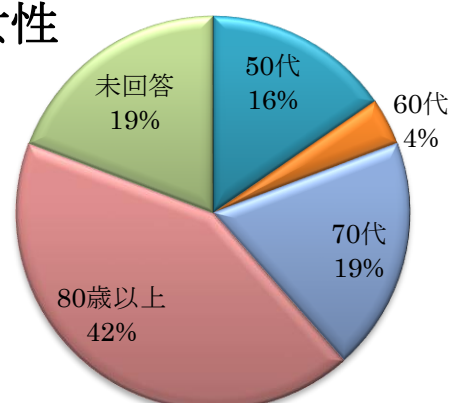
(1) 患者(年齢別)内訳(人)

年 齢	男性	女性	未回答
	人数	人数	人数
10代	0	0	0
20代	0	0	0
30代	0	0	0
40代	1	0	0
50代	0	4	0
60代	7	6	0
70代	6	5	0
80歳以上	11	11	0
未回答	2	5	0
合計	26	26	0

男性

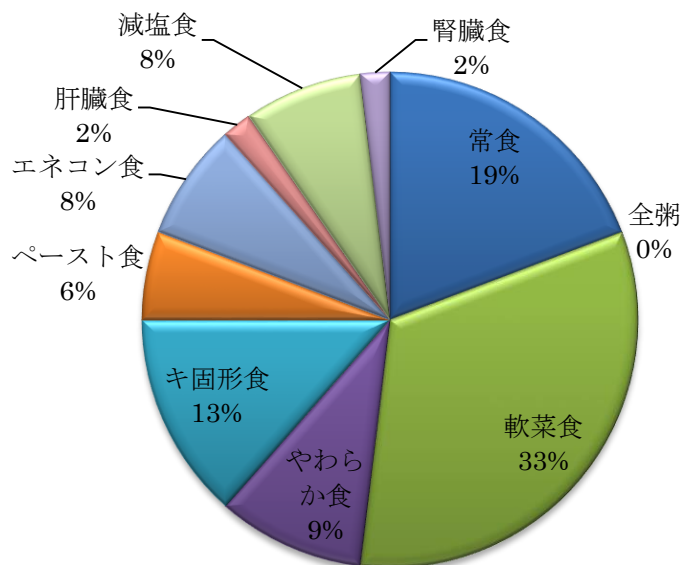


女性



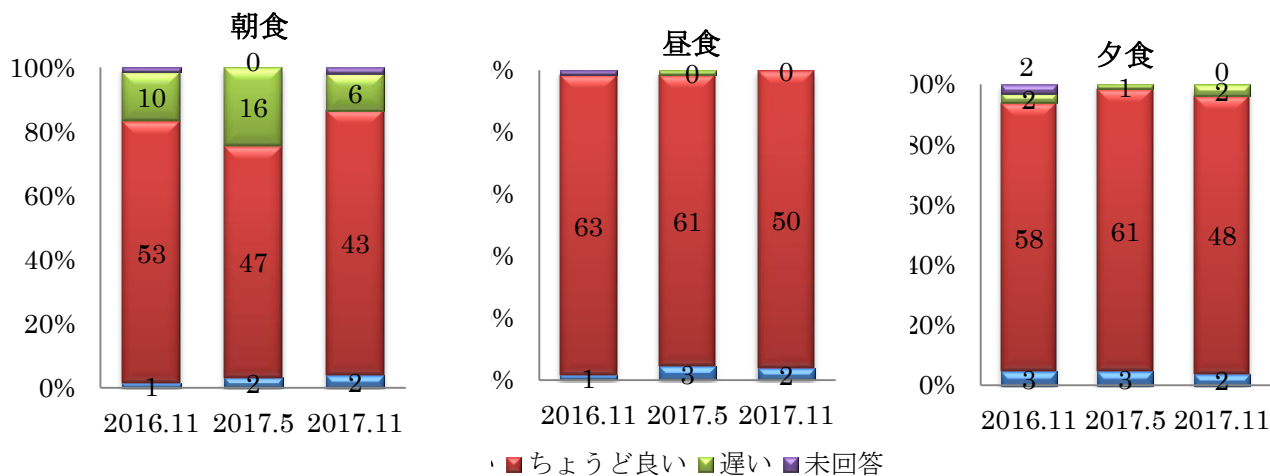
(2) 食種内訳 (人)

食種	人数
常食	10
全粥	0
軟菜食	17
やわらか食	5
キ固形食	7
ペースト食	3
エネコン食	4
肝臓食	1
減塩食	4
腎臓食	1
未回答	0



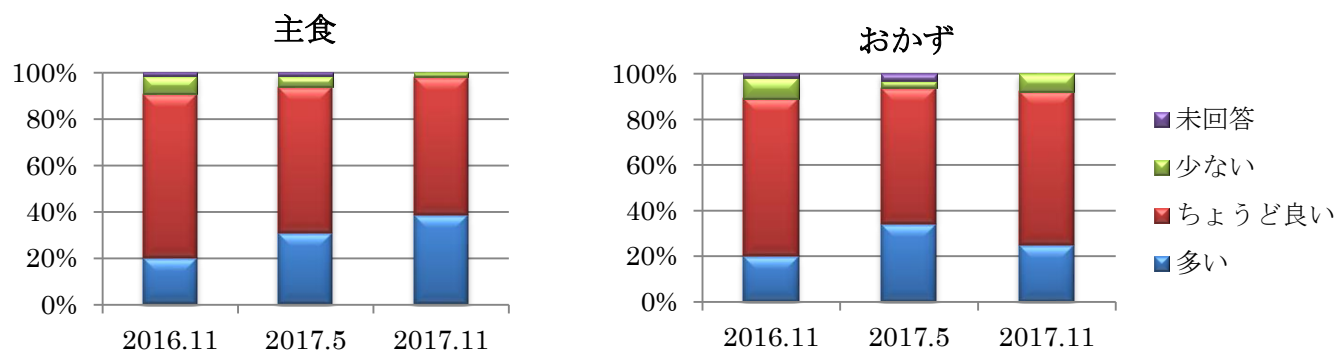
(3) 食事時間について (人)

	早い	ちょうど良い	遅い	未回答
朝食	2	43	6	1
昼食	2	50	0	0
夕食	2	48	2	0



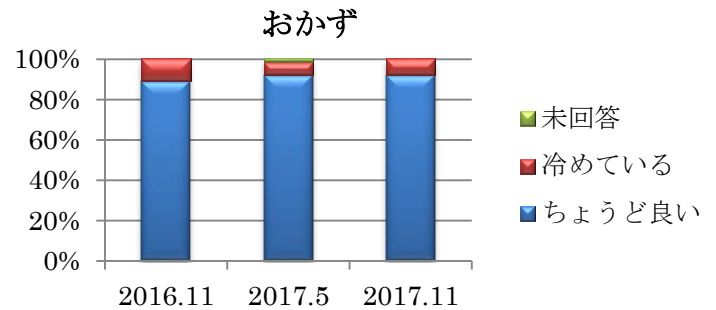
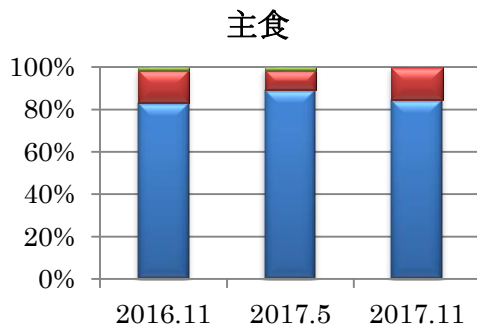
(4) 量について (人)

	多い	ちょうど良い	少ない	未回答
主食	20	31	1	0
おかず	13	35	4	0



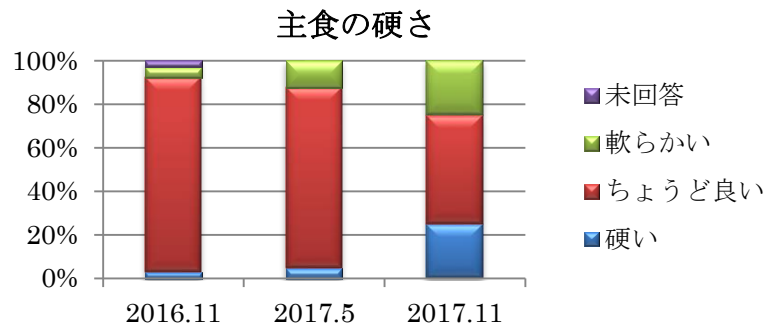
(5) 温度について (人)

	ちょうど良い	冷めている	未回答
主 食	44	8	0
おかず	47	4	0



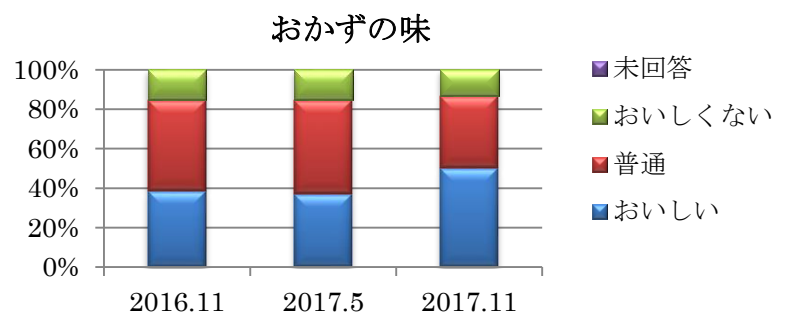
(6) 主食の硬さについて (人)

主食の硬さ	人数
硬い	3
ちょうど良い	46
軟らかい	3
未回答	0



(7) おかずの味について (人)

おかずの味	人数
おいしい	26
普通	19
おいしくない	7
未回答	0



【理由や具体的な料理】

① おいしい

- ・ 色々な料理がでる (軟菜食)

② 普通

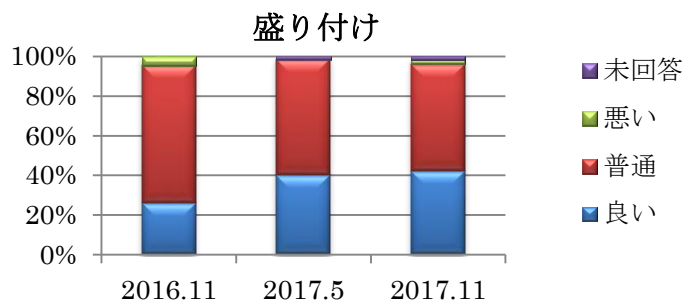
- ・ もう少し濃い味が良い (常食)
- ・ もう少し濃いめが良い (常食)
- ・ 魚料理がちょっと気になる。くさみ。(常食)
- ・ うどんはおいしかったが、きしめんはおいしくなかった (軟菜食)

③ おいしくない

- ・ 味が合わない (肝臓食)

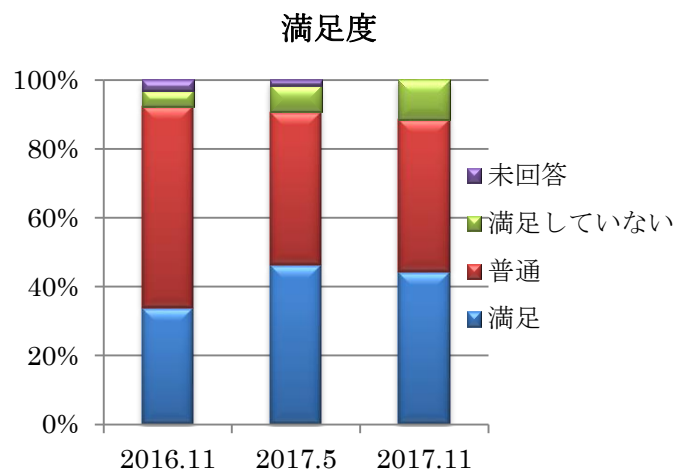
(8) 盛り付けについて (人)

盛り付け	人数
良い	22
普通	28
悪い	1
未回答	1



(9) 食事の満足について (人)

お食事の満足度	人数
満足	23
普通	23
満足していない	6
未回答	0



【理由】

① 満足

- ・ ごはんの硬さは現状で良い (常食)

② 普通

- ・ おひたしの味がうすい。しょうゆ味があるとよい (軟菜食)

③ 満足していない

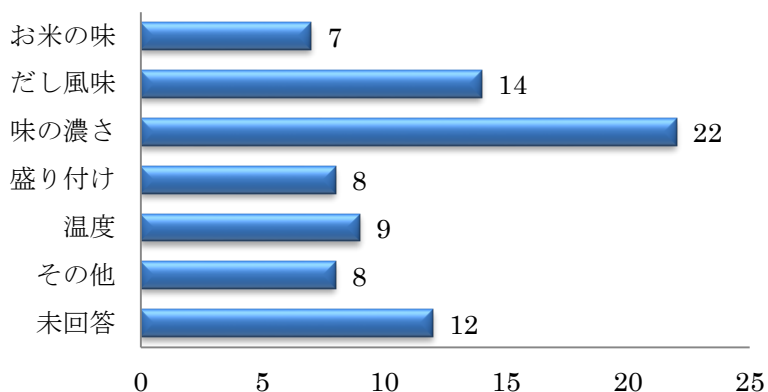
- ・ おいしいくない (肝臓食)

④ 未回答

(10) おいしさに求めることをおたずねします (複数回答可) (人)

お米の味	7
だし風味	14
味の濃さ	22
盛り付け	8
温度	9
その他	8
未回答	12

39名/52名 回答



【具体的な意見など】

- ・ 今のままでよい (減塩食) (軟菜食)
- ・ 米のたき方 (きざみ再固形食)
- ・ 今のままで良いが肉が少ない (やわらか一口カット食)
- ・ くだものが欲しい (エネコン食)
- ・ よくわかりません (ペースト食)
- ・ よくわからない (きざみ再固形食)
- ・ 食べる意欲があまりないためごめんなさい (常食)

- ・偏食の多い私、いろいろ考えて作って下さってありがとうございます（軟菜食）
- ・お米の味、おいしい。味の濃さ、これ以上濃くないように。盛り付け、ちょうど良い（常食）
- ・眼が見えないので、自分で眼でみて食べたならもっとおいしいと思う（やわらか一口カット食）

（１１）その他ご意見

- ・忙しいと思いますが朝食がもう少し早くなったらと思います。朝と昼の間が短くて昼があまり食べられない（常食）
- ・別にありません（ペースト食）
- ・別にないです（きざみ再固形食）
- ・特にない（きざみ再固形食）
- ・よくわかりません（きざみ再固形食）
- ・残したりして申し訳ございません。ご苦勞に感謝して居ります（軟菜食）
- ・おいしかったです（常食）

【結果・考察】

① 回答者の背景

- ・提供食種は常食・軟菜食の割合が 52%、前回と同程度でした。
- ・全体の回答率が 77%から 63%へ低下し、「ご本人記入」は 60%から 27%へ減少しました。
- ・記入者「職員」が 65%を占め、各項目で未回答は減少しています。

② 満足度

- ・「満足」評価者は 5 割弱、前回と同程度でした。
- ・「満足していない」が 5%から 11%に増加してしまいました。

＊特に治療食内では 20%が「満足していない」評価であり、「おいしくない」意見が目立ちました。全て塩分制限食であり、治療における必要性をご納得頂いていたか反省点となりました。

③ 課題

- ・主食の硬さについて、ちょうど良いが減少し、「硬い」「軟らかい」の評価が増加しました。マイナス評価者の食種に差が無い事から、炊き上がり具合の不安定性が伺えました。

③ 今回のトピックス

- ・今回も前回から引き続き「おいしさに求めること」を調査した結果、「味の濃さ」「だし風味」「温度」の順となりました。
- ・「味の濃さ」は前回から連続 1 位であり、最も重要と考えられていることを再確認しました。
- ＊「おいしくない」評価者 7 名中 6 名も「味の濃さ」を求めるとされており、薄味に対するマイナス評価が明らかとなりました。
- ＊病院食で可能な限りの工夫を重ね、2 位「だし風味」を活かすことも併せて検討します。

5.2.8 NST委員会

1) 委員会目的

栄養障害を生じている、又はそのリスクがある患者さまの栄養療法を支援することを目的として、隔月第2火曜日に開催する

2) 会議内容

開催日	主な内容
H29/ 5/ 9	・委員会要綱の見直し ・現行のカンファレンス・回診方法についての評価・検討 ・活動報告 ・栄養管理計画実施状況評価
H29/ 7/11	・活動報告 ・栄養管理計画実施状況評価
H29/ 9/12	・活動報告 ・栄養管理計画実施状況評価
H29/11/14	・活動報告 ・栄養管理計画実施状況評価
H30/ 1/16	・活動報告 ・院内研修会実施報告 ・栄養管理計画実施状況評価
H30/ 3/13	・活動報告 ・電子カルテ更新に伴う NST カンファレンス・回診方法の検討 ・栄養管理計画実施状況評価

3) 活動実績

内容	介入症例数	1回診当りの症例数
NST	376 件	10.7 件
嚥下チーム	10 件	

4) 院内研修会

- ①開催日：平成 29 年 11 月 14 日
- ②テーマ：「がん患者さまのための栄養管理」
- ③講師：（株）大塚製薬工場 前野 簡彰 氏
- ④参加者 45 名

5.2.9 褥瘡防止対策委員会

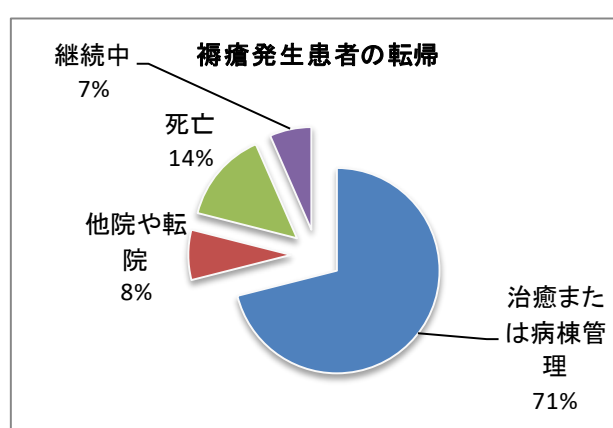
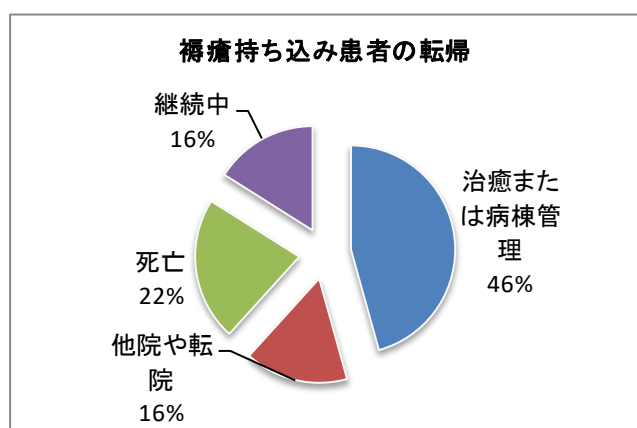
1) 委員会目的

豊田地域医療センターにおける院内褥瘡防止を推進することを目的として、年 4 回定期的に開催する。

2) 活動内容

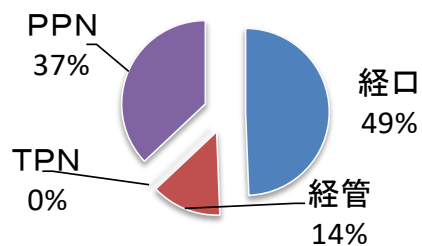
委員会開催日	会議内容
H29/04/24	委員会及び要綱の確認
	平成28年度褥瘡院内発生・持ち込み状況
	褥瘡防止対策委員会主催の研修会について
H29/07/24	褥瘡回診実施状況
	褥瘡防止対策委員会主催の研修会について
H29/10/30	褥瘡回診実施状況
	褥瘡防止対策委員会主催の研修会について
H30/01/22	褥瘡回診実施状況
	褥瘡防止対策委員会主催の研修会報告

- ・チームでの褥瘡回診を、毎月曜日に実施し（重症例は木曜日でも医師のみで介入）した。
- ・平成29年度は、回診を計 46 回行い、介入患者数は 169 名、のべ 618 回の回診を行った。
- ・1回あたりの平均介入患者数は13.4人、一人あたりの平均介入回数は3.66回であった。
- ・他院または、外来入院からの持ち込みの褥瘡は 81 件、院内での発生は 76 件あり、褥瘡以外の創傷も 12 件あった。
- ・平均介入回数は、褥瘡持ち込みが4.6回、発生は2.5回であり、院内での発生事例では短期間で改善したものが多かった。
- ・褥瘡持ち込み患者、褥瘡発生患者の転帰は、以下のグラフのとおりである。
- ・転帰のうち、治癒または病棟管理レベルは、Ⅰ度～Ⅱ度で感染や浸出液もほとんどない軽症のものも含む。

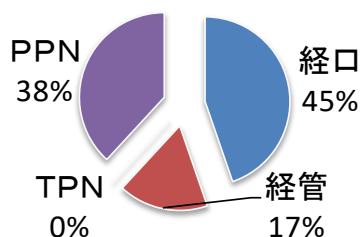


- ・褥瘡持ち込み患者、褥瘡発生患者の栄養投与は、以下のグラフのとおりである。
T P Nは、中心静脈栄養による高カロリー輸液を示す。P P Nは、末梢静脈栄養を示す。

褥瘡持ち込み患者の栄養投与



褥瘡発生患者の栄養投与



- ・褥瘡発生患者の76名のうち、直近のデータのある75名の血中アルブミン値は、平均2.6 g / d l であった。
- ・全身の栄養状態が悪く、末梢点滴のみの事例では、感染予防を最優先した。死亡例の中に、褥瘡の感染によるものは一例もなかった。
- ・褥瘡防止対策委員会主催の研修会として、「身体にかかる圧の影響と対策」の表題で、平成30年1月15日（月）17：30～18：40に開催した。参加者は49名、圧の状況を視覚的に見ることで有益だった。

5.2.10 薬事材料委員会

1) 委員会目的

豊田地域医療センターにおける使用薬品・材料の評価及び新規採用の検討を行うことにより、的確な治療法の確保、最大限の治療効果及び効率的な医薬品・材料の使用を推進することを目的として、隔月第1木曜日に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H29/ 4/6	・ 医薬品情報について
H29/ 6/1	・ 医薬品情報について
H29/ 8/3	・ 医薬品情報、新規採用医薬品について
H29/12/7	・ 医薬品情報、診療材料について
H30/ 2/1	・ 医薬品情報、新規採用医薬品について

3) 主な活動内容

- ・ 医薬品の新規採用の検討、採用削除品目の検討をした。
(平成 29 年度採用品目 1 品目、削除品目 14 品目)
- ・ 採用医薬品を後発医薬品に 3 品目変更し後発医薬品使用量割合 70%以上に。
- ・ 医薬品販売品名・剤形変更についての報告。(5 件)
- ・ 医薬品販売中止品目の対応検討。(13 件)
- ・ 診療材料の採用等の検討。(1 件)

5.2.11 臨床検査適正化・輸血療法委員会

1) 委員会目的

臨床検査の精度向上に関する活動を行うこと及び輸血療法を安全で適正に行うことを目的として、偶数月第3水曜日に開催する。

2) 活動内容

血液製剤の使用が適切であるかを審議し、使用件数の報告を行っている。

輸血製剤		H29年度	H28年度	H27年度
RBC		28件	16件	18件
	破棄	0件	2件	3件
FFP		1件	0件	0件
	破棄	0件	0件	0件
アルブミン		2件	4件	7件
	破棄	2件	0件	0件

年4回実施される精度管理調査報告により、臨床検査の精度を評価している。

精度管理実施団体	参加 施設数	評価 対象数	評価 A+B		評価 C		評価 D	
			件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
(1) 日本臨床衛生検査技師会	3,200	162	161	99.4	1	0.6	0	0.0
(2) 愛知県臨床検査技師会	110	162	162	100	0	0	0	0
(3) 日本医師会	3,100	85	85	100	0	0	0	0
(4) 全国労働衛生団体連合会	300	82	81	98.8	0	0	0	0

- ・ A、B、C、D評価は目標値±で評価を行っている。
- ・ 評価Aもしくは評価Bとなることが望ましい。
- ・ 評価対象分野

- (1) 臨床化学、免疫血清、微生物、血液、細胞、一般、生理、輸血
- (2) 臨床化学、免疫血清、微生物、血液、細胞、一般、生理、輸血
- (3) 臨床化学、免疫血清、血液、尿一般
- (4) 臨床化学、血液、尿一般

5.2.12 入退院判定会

入退院判定会

1) 委員会目的

適切な受け入れと円滑な入退院調整の検討を目的として、
毎週火曜日に開催する。(H29年10月より毎週水曜日開催へ変更)

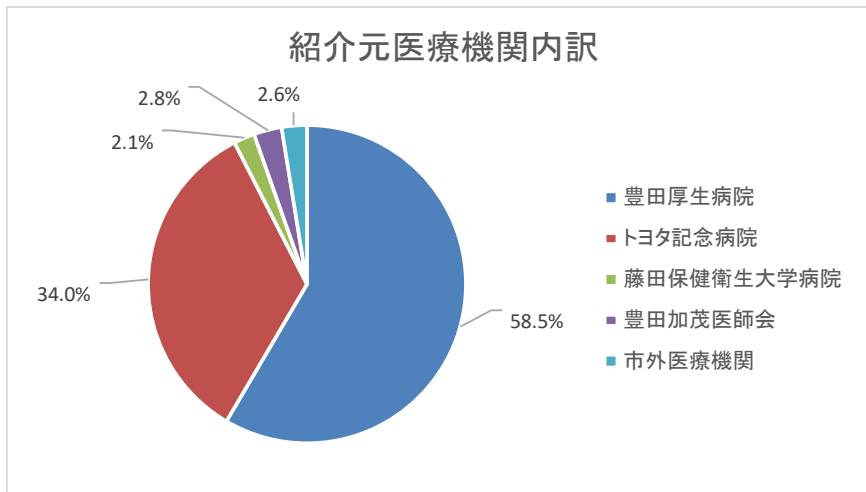
2) 会議内容

- ・入退院判定会の構成委員は医師、看護職、MSWである。
- ・入退院判定会の受入れマニュアルに準じて、各職種の専門性を活かし、ケース検討を行っている。
- ・病棟稼働率、入院調整状況を共有している。
- ・長期入院患者の把握と退院困難ケースの現状と今後の方向性の検討を実施している。

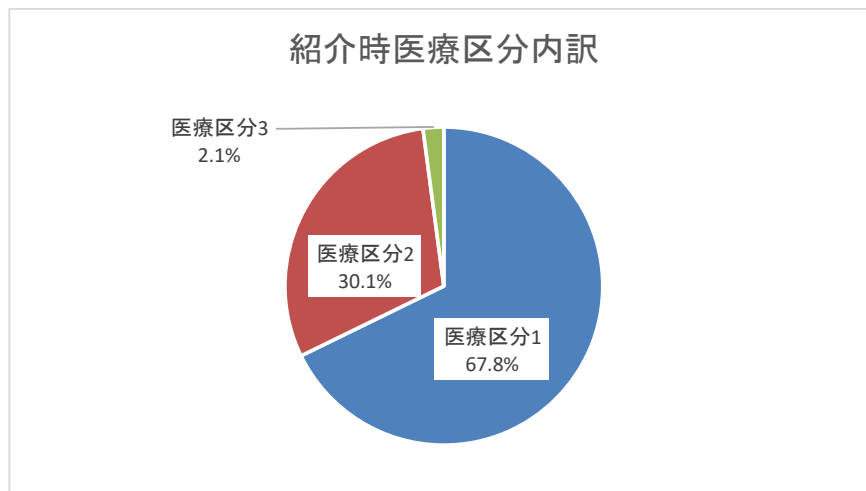
3) 活動内容

開催日	会議内容
H29/ 4 4回	・ 検討 58件
H29/ 5 5回	・ 検討 64件
H29/ 6 4回	・ 検討 43件
H29/ 7 4回	・ 検討 55件
H29/ 8 5回	・ 検討 60件
H29/ 9 4回	・ 検討 43件
H29/10 4回	・ 検討 71件
H29/11 5回	・ 検討 57件
H29/12 4回	・ 検討 65件
H30/ 1 5回	・ 検討 65件
H30/ 2 4回	・ 検討 66件
H30/ 3 4回	・ 検討 63件
総件数	710件

- ・入院判定の結果、受入れ率は99.0%であった。
- ・医療機関からの転院依頼の目的は、療養・リハビリ・施設入所調整・在宅サービス調整等であった。
- ・その他に、介護福祉施設では対応困難な医療行為が必要な方のショートステイ、レスパイト入院の依頼があった。
- ・一般病棟における平均在院日数は21日を超えることなく、施設基準を維持できた。

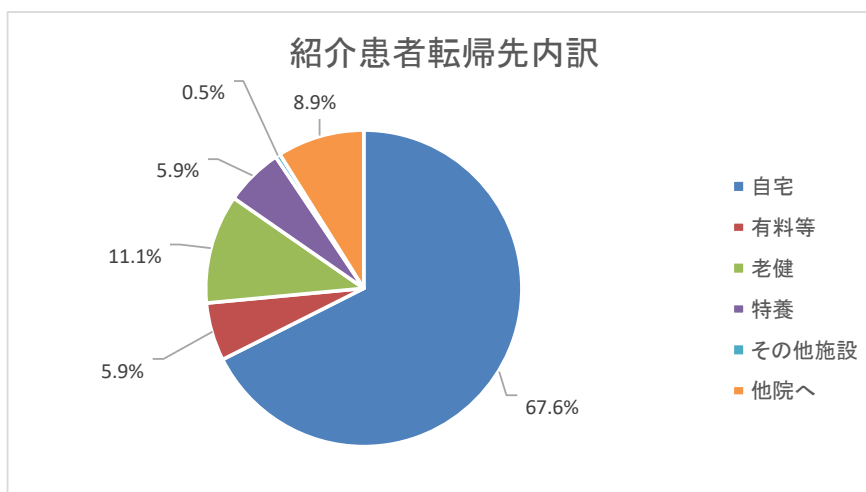


- ・ 紹介ケースの医療区分内訳は以下のとおりである。



- ・ 医療区分2に該当する行為としては、吸痰・酸素3L未満が多く、医療区分3に該当する行為としては酸素3L以上が多い。

- ・ 死亡退院と入院中患者を除いた紹介患者の転帰先は以下のとおりである。



- ・ 患者の状態像、意向等を考慮し、退院調整を行っている。
H28年に地域包括ケア病床8床が開設、H29年3月に17床に増床、H30年3月には一病棟全51床を地域包括ケア病棟として転換した。
よって、今後も引き続き、患者・家族の在宅退院への不安を軽減し、よりスムーズに在宅退院（または在宅扱い施設へ入所）できるよう、院内・院外が多職種と協働し支援を行うことが重要である。

5.2.13 災害対策委員会

1) 委員会目的

災害の予防、防止及び災害発生時の災害復旧を早急に行なわせ、人命の安全、財産の保全につとめることを目的として、毎月第1金曜日に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H29/ 4/ 7	・平成29年度委員会新委員について ・平成29年度 防災訓練の予定について ・防災備品及び非常食について（購入品目の検討）
H29/ 5/19	・非常食について ・防災備品について ・第1回防災訓練について
H29/ 6/ 2	・第1回防災訓練について
H29/ 7/ 7	・第1回防災訓練について ・防災備品及び非常食について
H29/ 8/ 4	・第1回防災訓練について ・非常食について
H29/ 9/ 1	・第1回防災訓練について ・非常食について
H29/10/ 6	・非常食について ・第2回防災訓練について ・第1回防災訓練の振り返りについて
H29/12/1	・非常食について ・第2回防災訓練について ・エアーストレッチャー講習会実施について ・第1回防災訓練の振り返りについて
H30/ 1/ 5	・第2回防災訓練について ・エアーストレッチャー講習会について ・防災備品について
H30/ 2/ 2	・第2回防災訓練について ・エアーストレッチャー講習会について ・防災備品について
H30/ 3/2	・第2回防災訓練の振り返りについて

5.2.14 広報委員会

1) 委員会目的

広報活動の推進と運営を行うことを目的として、不定期に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H29/ 5/19	・医療センターだより 65号について ・市民公開講座について
H29/ 8/ 1	・医療センターだより 66号について ・市民公開講座について
H29/10/13	・医療センターだより 67号について ・市民公開講座について
H30/ 3/9	・医療センターだより 68号について ・医療センターだより 表紙の写真について ・医療センターだより当年度実績報告及び 次年度発行予定について

3) 主な活動内容

- ・年4回（5・7・10・1月）の医療センターだよりの発行。
- ・各種パンフレット（病院案内、回復期リハ病棟案内、療養病棟案内）の内容の見直しと発行。
- ・ホームページの更新。

5.2.16 衛生委員会

1) 委員会目的

職員の健康保持及び職場環境の改善を目的として、毎月第3木曜日に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H29/ 4/20	・平成29年度衛生委員会の委員について ・衛生委員会の付議事項について ・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・作業環境測定（ホルムアルデヒド、キシレン、メタノール）の結果について ・職員の健康管理（健康診断等）の年間スケジュールについて
H29/ 5/18	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・健康診断の結果について ・化学物質のリスクアセスメントについて
H29/ 6/15	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・長時間労働者に対する面接指導について ・化学物質のリスクアセスメントについて ・その他 ①クリンキーパーの使用について
H29/ 7/20	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・労働災害の発生について ・その他 ①疥癬の発生について ②ストレスチェックについて
H29/ 8/17	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・定期健康診断の実施について ・労働災害の発生について
H29/ 9/21	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・作業環境測定（ホルムアルデヒド、キシレン、メタノール）の結果について ・インフルエンザワクチンの接種について ・労働災害の発生について
H29/ 10/19	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・ストレスチェックの実施について
H29/ 11/16	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・健康保険加入者の生活習慣病予防健診の実施について ・長時間労働による健康障害の防止について ・その他 ①衛生委員会が開催する研修会の内容について ②インフルエンザワクチンの接種について

H29/ 12/21	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・労働災害の発生について ・職員定期健康診断の結果について ・衛生委員会が開催する研修会の内容について
H30/ 1/18	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・職員定期健康診断の実施について ・特殊健康診断の実施について ・V D T 健康診断の実施について ・衛生委員会が開催する研修会の内容について
H30/ 2/15	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・メンタルヘルス研修会について
H30/ 3/15	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・労働災害の発生について ・平成30年度の委員の選任について ・その他 ①メンタルヘルス研修会開催報告

3) 主な活動内容

- ・産業医による職場巡視を月1回、衛生管理者による職場巡視を週1回実施
- ・職員健康診断に関する報告・検討
- ・ストレスチェックに関する検討
- ・労働災害に関する報告・検討
- ・メンタルヘルス研修会の開催（平成30年3月6日（火）開催・46名参加）
- ・長時間労働による健康障害の防止対策

6 講演、学会、研究会等の発表

【市民公開講座】

- ・ 豊田加茂医師会館 2階講堂（平成29年11月11日）
- ・ 演題：「イキイキ長寿健康法免疫力を高める生活」
- ・ 講師：東京医科歯科大学名誉教授 藤田紘一郎 先生

【出席310名】

- ・ イベント：認定看護師による「嚥下のお話」、手を使った頭の体操 ほか

【学会発表・講演等】

- ・ 第58回日本人間ドック学会（平成29年8月25日）
学会発表「特定健診問診項目から見る生活習慣病の原因についての検討」
／健診事業課：小畑貴之
- ・ 第23回豊田加茂在宅医療講演会（平成29年6月3日）
講演会「訪問栄養指導への取組」
／栄養科：杉浦さゆり
- ・ 愛知県医師会精度管理研修会（平成30年2月9日）
研修会発表「平成29年度臨床検査精度管理調査結果について」
／臨床検査科：加藤隆正
- ・ 生化学・一般検査調査結果報告 生化学的検査（平成30年3月発行）
投稿発表「平成29年度臨床検査精度管理調査結果」
／臨床検査科：加藤隆正
- ・ 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（平成29年5月13日、14日）
学会発表「PDCAサイクルを用いた豊田マラソン大会救護班の質改善プロセス」
／総合診療科：石黒謙一郎
- ・ 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（平成29年5月13日、14日）
学会発表「検診からみた60歳以上男性の肥満について」
／総合診療科：平嶋竜太郎
- ・ 第26回豊田加茂医学会（平成29年7月1日）
学会発表「健診から見た60歳以上の男性肥満について」
／総合診療科：高岡大介
- ・ 第28回日本老年医学会東海地方会（平成29年9月30日）
学会発表「施設看取りに関する実態調査と検討」
／総合診療科：寺澤佳洋

- ・第15回日本病院総合診療医学会学術総会ワークショップ（平成30年3月3日）
学会発表「新専門医制度・地域研修劇的ビフォーアフター」
／総合診療科：大杉泰弘
- ・治療（2017年99巻10月号 南山堂）
投稿発表「特集企画：救急×家庭医療 よりよい連携を目指して」
／総合診療科：大杉泰弘

7 研修状況

7.1 研修会

所属	院外研修	院内研修	発表
共通・病院全体	4	1	
理事長	5	0	
院長	2	0	
副院長	9	0	
診療部	33	4	5
看護部	51	83	
薬剤部	26	21	1
診療放射線科	7	5	
臨床検査科	16	17	
リハビリテーション科	32	42	2
栄養科	12	6	
地域医療連携室	18	0	1
事務部	7	4	
総務課	11	0	
管理課	5	1	
医事課	14	1	
在宅医療支援センター	0	0	
在宅支援課	83	0	
訪問看護科	25	68	1
健診センター	13	0	
健診事業課	14	3	1
健診看護科	3	2	
保健指導課	5	0	
医療安全推進室	8	12	1
教務科	20	0	
事務課	0	0	
事務局	2	0	
院内感染対策委員会・ICT委員会	19	30	
医療安全管理委員会	2	7	
診療報酬委員会	0	1	
NST委員会	0	1	
災害対策委員会	0	1	
衛生委員会	0	1	
倫理委員会	0	1	
サービス向上委員会	0	1	
IT委員会	1	0	
セーフティマネジメント部会	0	36	
計	447	349	12

8 実習状況

8.1 学生実習

学校名	実習生氏名	実習期間	担当
愛知医療学院短期大学	1名	H30/2/19～30/2/23	作業療法
愛知県看護協会	2名	H30/1/15～30/2/15	訪問看護
	1名	H29/7/18	
	1名	H29/8/1	
	1名	H29/8/25	
愛知県立総合看護専門学校	2名	H29/9/4～29/9/15	訪問看護
	3名	H29/10/10～29/10/20	
	2名	H30/2/19～30/3/2	
作業療法士会	2名	H29/8/1	作業療法
中部リハビリテーション専門学校	1名	H29/7/24～29/9/8	理学療法
東海学園大学	2名	H29/11/27～29/12/8	栄養科
東北福祉大学	2名	H30/2/19～30/2/23	作業療法
	2名	H30/2/26～30/3/2	
	2名	H30/3/5～30/3/9	
日本赤十字豊田看護大学	2名	H29/5/16～H29/5/19	訪問看護
	2名	H29/5/22～H29/5/25	
	2名	H29/6/6～H29/6/9	
	1名	H29/6/12～H29/6/15	
	2名	H29/6/27～H29/7/6	
日本福祉大学	1名	H29/10/30～29/2/8	作業療法
東名古屋病院附属リハビリテーション学院	1名	H29/7/24～H29/9/1	作業療法
	1名	H30/1/15～H30/1/19	
	1名	H29/9/19～H29/10/27	理学療法
星城大学	1名	H29/6/12～29/8/5	作業療法
東海医療科学専門学校	2名	H30/2/7	作業療法
	2名	H30/2/14	

8.2 職場体験学習

学 校 名	日 程	参加人数
猿投中学校	H29/6/7-8	1 名
上郷中学校	H29/6/7-8	1 名
猿投台中学校	H29/6/13-14	2 名
梅坪台中学校	H29/6/19-20	2 名
豊南中学校	H29/9/21-22	2 名
朝日丘中学校	H29/10/18-19	2 名
6 校		10 名

主に豊田市内の中学生を対象に、愛知県教育委員会が推進する『あいち・出会いと体験の道場』に基づいて行う職場体験学習を通して、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなどを学ぶ機会を提供する。また、豊田市における医療センターの役割について知ってもらう。